

EPSON

Endeavor SY01



ユーザーズマニュアル

Windows 8.1

ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

購入時

使いはじめ

使いこなしたいとき

困ったとき

故障
したとき

やりたいこと

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい

- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- アプリの操作方法を知りたい
- 周辺機器(プリンター、デジタルカメラなど)を使いたい

- オプション製品 (キーボード、マウス、アプリなど)を使いたい

- 画面表示やサウンドの設定をしたい **p.44、53**
- 無線LANに接続したい **p.54**



- メモリーカードを使いたい **p.39**
- 添付アプリを知りたい **p.21**
- 省電力で使いたい **p.71**
- 本機の仕様を知りたい **p.109**
- 再インストールをしたい **p.87**
- セキュリティー設定をしたい **p.66**
- Bluetooth機器を使いたい **p.61**
- USB機器を接続したい **p.42**
- UEFIの設定を変更したい **p.75**

- トラブルを解決したい **p.93**
- システム診断をしたい **p.104**

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所



『スタートアップガイド』



[お役立ち]



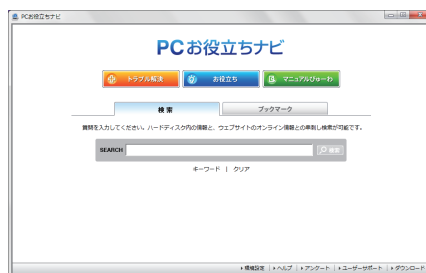
オプション製品のマニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)



PCお役立ちナビ p.4



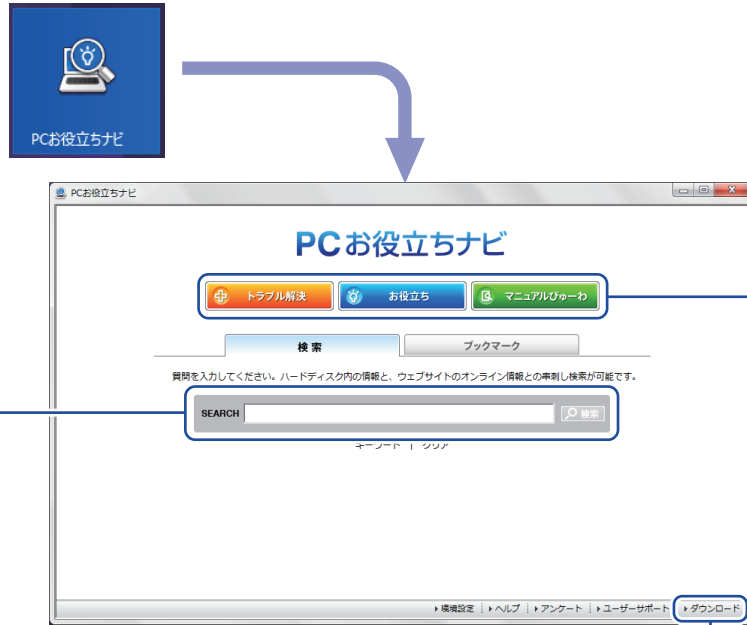
[トラブル解決]



『サポート・サービスのご案内』

知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFI やドライバーもダウンロードできます。



最新のUEFI やドライバーをダウンロード

① 検索をする

TOPページから
検索実行

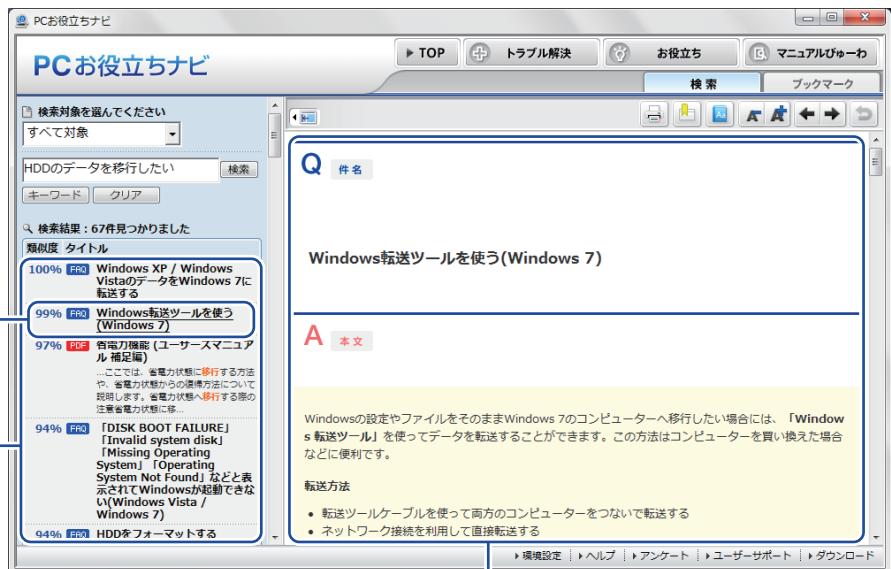
本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・ヘルプなど

※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

① 見たい項目
を選択

検索結果



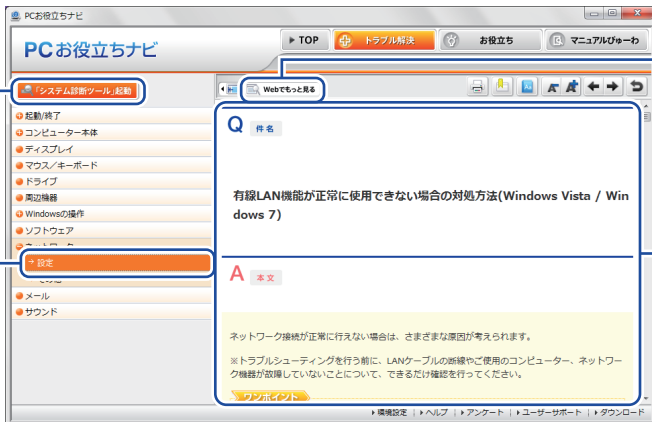
② 内容が表示される

② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決 トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
を選択

②見たい項目を
を選択

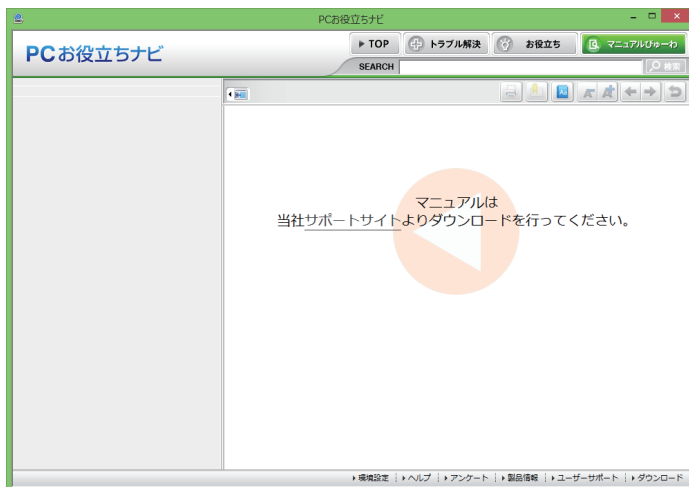


もっと情報が見たい
とき→Webへ

[お役立ち] 内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ Webのマニュアルダウンロードページを表示します。



<イメージ>

目次

ご使用の前に

| | |
|-------------------------------|----|
| 製品保護上の注意..... | 10 |
| 無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意..... | 13 |
| マニュアルの読み方..... | 14 |
| 各部の名称..... | 20 |
| 添付されているアプリ..... | 21 |

1 コンピューターの基本操作

| | |
|------------------------------|----|
| Windows 8.1 の基本操作..... | 24 |
| マウスを使う..... | 34 |
| キーボードを使う..... | 35 |
| eMMC の概要..... | 38 |
| メモリーカードを使う..... | 39 |
| USB 機器を使う..... | 42 |
| 画面表示機能..... | 44 |
| サウンド機能..... | 53 |
| 無線 LAN 機能..... | 54 |
| Bluetooth 機能..... | 61 |
| インターネットを使用する際のセキュリティー対策..... | 66 |
| 省電力機能..... | 71 |

2 UEFI の設定

| | |
|-------------------------------|----|
| UEFI の設定を始める前に..... | 76 |
| UEFI Setup ユーティリティーの操作..... | 77 |
| UEFI Setup ユーティリティーの設定項目..... | 84 |

3 再インストール

| | |
|----------------------------------|----|
| 再インストールの前に..... | 88 |
| PC をリフレッシュする..... | 89 |
| すべてを削除して Windows を再インストールする..... | 90 |

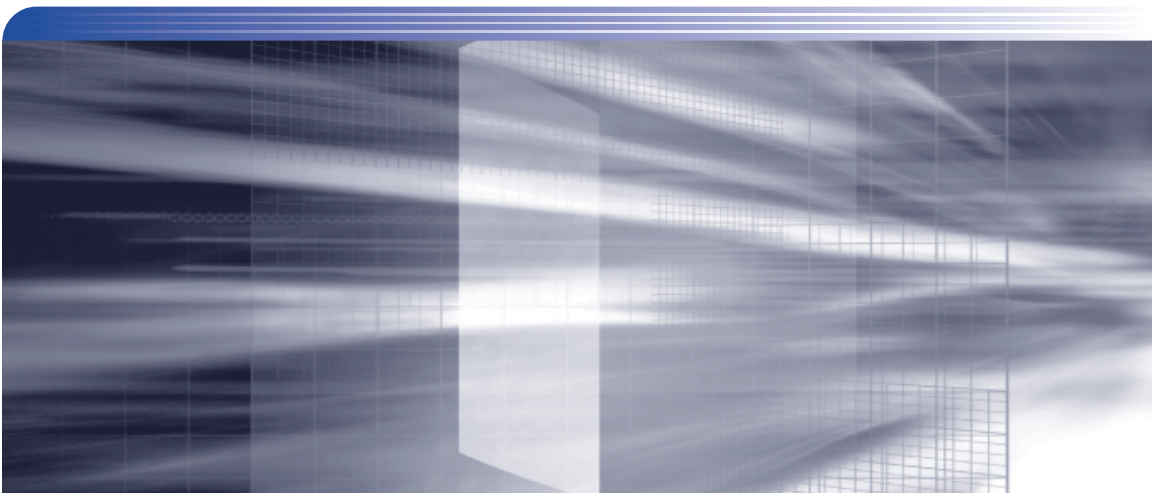
4

困ったときは

| | |
|-------|-----|
| | 94 |
| | 96 |
| | 100 |

付録

| | |
|-------|-----|
| | 106 |
| | 107 |
| | 109 |



ご使用前に

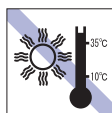
本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

| | |
|-------------------------------|----|
| 製品保護上の注意..... | 10 |
| 無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意 | 13 |
| マニュアルの読み方..... | 14 |
| 各部の名称 | 20 |
| 添付されているアプリ | 21 |

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



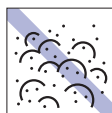
温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



ラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でラジオなどに雑音が入ることもあります。



ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。



本機の上には重い物を載せないでください。

重圧により、故障や誤動作の原因となります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の eMMC なども含めて、故障、誤動作の原因となります。



給電専用 USB ケーブルが抜けやすい所（ケーブルに足が引っかかりやすい所や、ケーブルの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。

給電専用 USB ケーブルが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。

配線ケーブルはすべて取り外し、メディアなどは取り出してください。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



AC アダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。



本機は使用中、表面が熱くなることがあります。熱くなった場合は、長時間触れないでください。

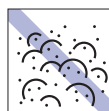
低温火傷の原因となります。

メモリーカード

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、メモリーカードに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



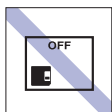
キズを付けないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



メモリーカードアクセス中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



金属端子には触れないでください。



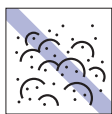
ラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。



金属端子にホコリや水を付けないでください。
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、「ユーザーズマニュアル」（本書）とは別に提供されている場合があります。



お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別紙や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別紙
- [PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] で表示される電子マニュアル（Web）

マニュアル中の表記








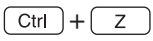
安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |





一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

| | |
|---|---|
|  | 制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。 |
|  | 参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。 |
|   | 操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。 |
|  | 手順が次ページに続くことを示します。 |
|  | <input type="checkbox"/> で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、 <input type="checkbox"/> N は <input type="checkbox"/> N _み のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。 |
|  | +の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、 <input type="checkbox"/> Ctrl を押したまま <input type="checkbox"/> Z を押します。 |

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 本書内の参照ページを示します。 |
|  | 別紙を示します。 |
|  | 別紙の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』 |
|  | サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。 |

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

| | |
|---------|-------------------------|
| eMMC | embedded MultiMediaCard |
| メモリーカード | マイクロ SD カード |

オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

| | |
|-------------|---|
| Windows 8.1 | Windows [®] 8.1 with Bing 32 bit 版 |
|-------------|---|

eMMC 容量の記載

本書では、eMMC 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

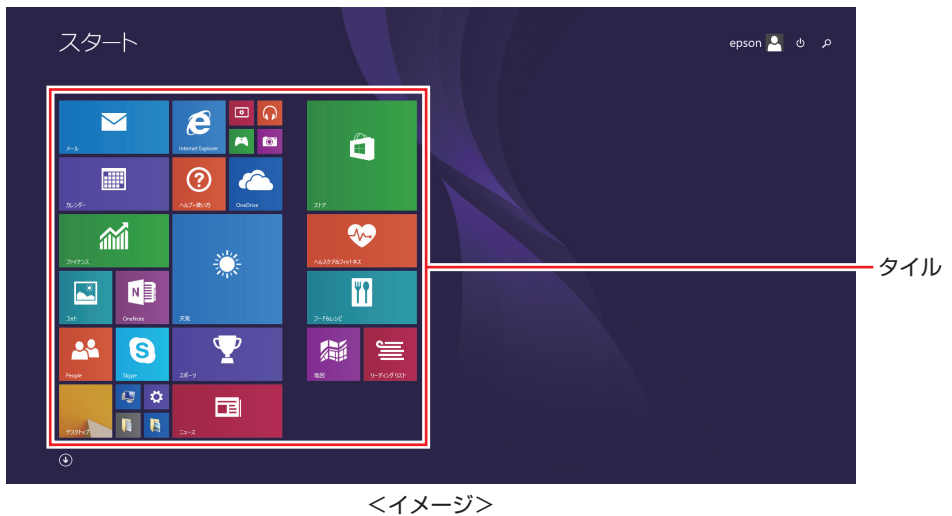
メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。

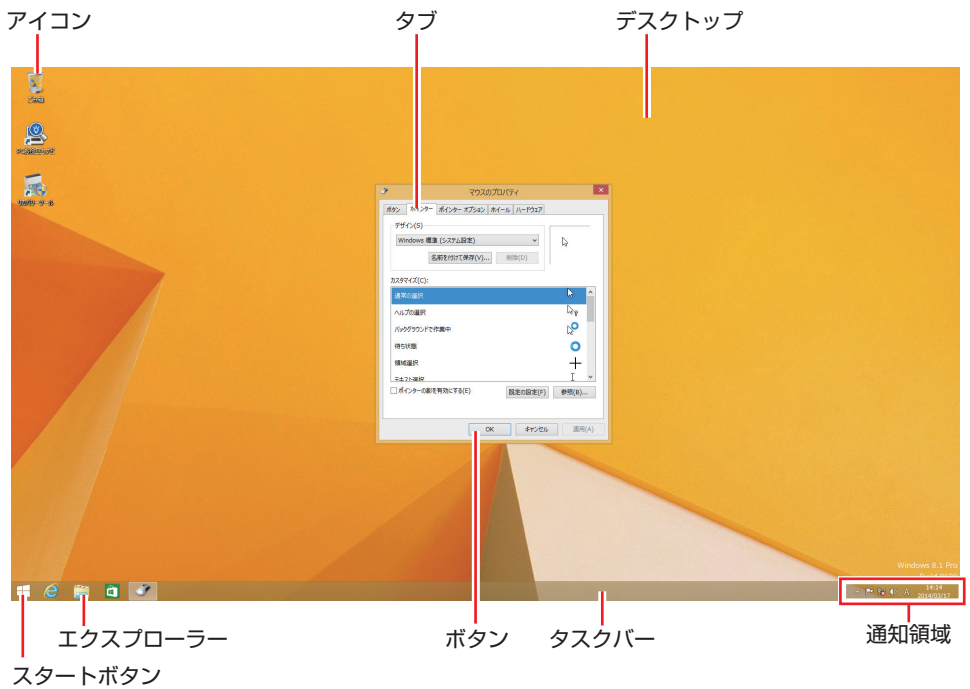
Windows の画面表示に関する記載

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

スタート画面



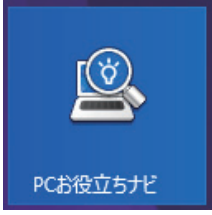
デスクトップ画面

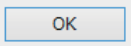


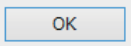
タイル / ボタン

タイルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [PC お役立ちナビ]



例)  : [OK]



コントロール パネル

本書では、コントロール パネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



<表示方法: カテゴリ>

画面操作の記載

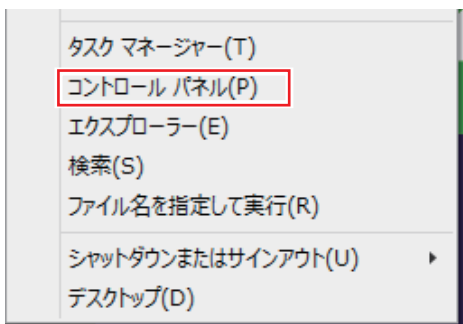
本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

● 記載例

画面左下隅で右クリック―「コントロール パネル」―「デスクトップのカスタマイズ」―「画面の解像度の調整」

● 実際の操作

- 1 画面左下隅で右クリックします。
- 2 表示されたメニューから「コントロール パネル」をクリックします。



- 3 表示された画面内の「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。

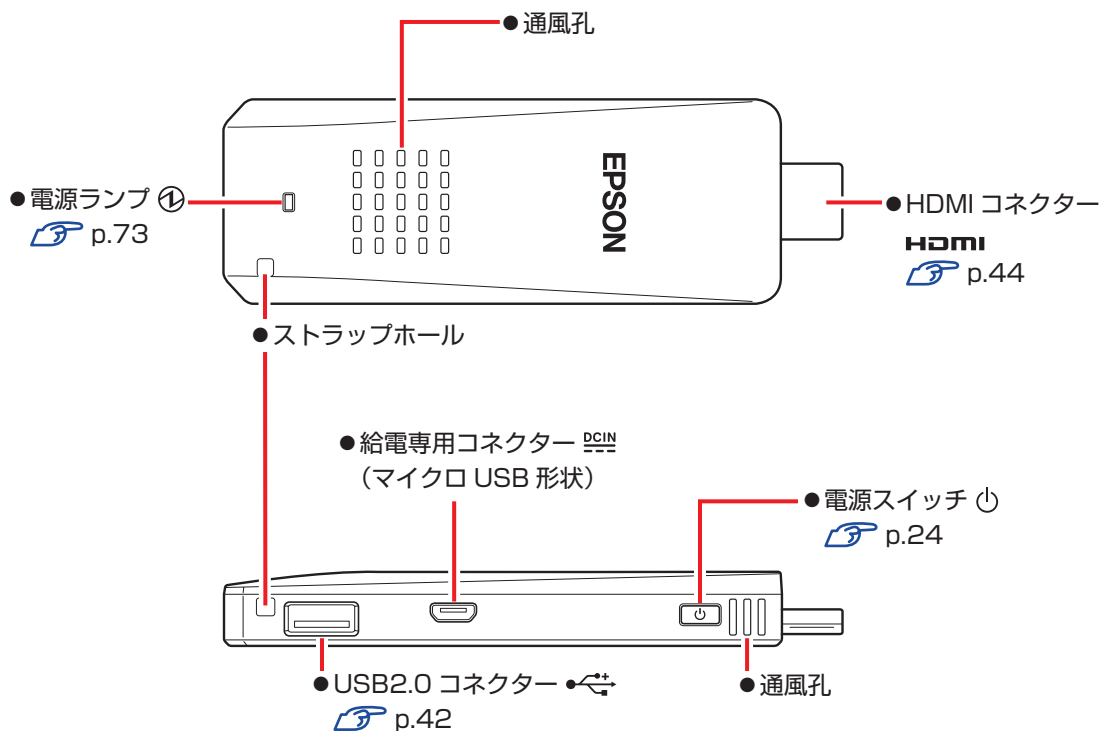
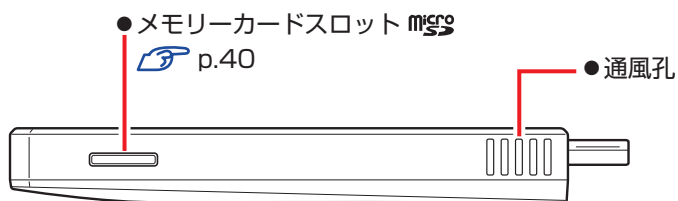


- 4 表示された画面内の「画面の解像度の調整」をクリックします。



各部の名称

本機の各部の名称を記載します。




添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ




次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。

| 本機にインストールされているアプリ |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">●Windows 8.1 本機のオペレーティングシステム (OS) です。 |
| <ul style="list-style-type: none">●本体ドライバー<ul style="list-style-type: none">• Intel ドライバーパッケージ 本機の機能を使用するためのドライバーや、各種コントローラーを制御するためのドライバーが入っているドライバーパッケージです。次のドライバーが入っています。<ul style="list-style-type: none">・ビデオドライバー (Intel HD Graphics ドライバー)・サウンドドライバー (Intel SST Audio Device ドライバー)・I2C ドライバー・GPIO コントローラードライバー・UART コントローラードライバー・GPIO Virtual ドライバー・Intel Sideband Fabric Device ドライバー・Intel Power Management IC Device ドライバー・Intel Dynamic Platform & Thermal Framework ドライバー• 無線 LAN ドライバー (Realtek Wireless LAN ドライバー) 無線 LAN を使用するためのドライバーです。• Bluetooth ドライバー (Realtek Bluetooth Uart ドライバー) Bluetooth を使用するためのドライバーです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Microsoft .Net Framework 4.5 .Net Framework 4.5 で作成されたアプリケーションなどを使用するためのプログラムです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●PC お役立ちナビ  p.4、p.94 コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのアプリです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●Windows Essentials ムービーメーカーやフォトギャラリーなど、複数のアプリを含むパッケージです。 |
| <ul style="list-style-type: none">●楽天 Gateway 楽天サービスへの入り口となるアプリです。 |

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じて次の場所からインストールしてください。

スタート画面左下の  「おすすめアプリケーションのインストール」

| 必要に応じてインストールするアプリ |
|---|
| ● ウイルスバスター クラウド 90 日版  p.67 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーアプリです。 |
| ● i-フィルター 6 30 日版  p.70 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。 |
| ● Endeavor 電源プラン設定ツール  p.74 本機に節電設定を行うためのアプリです。 |

1


コンピューターの基本操作

コンピューターの基本的な操作方法について説明します。

| | |
|------------------------------|----|
| Windows 8.1 の基本操作 | 24 |
| マウスを使う | 34 |
| キーボードを使う..... | 35 |
| eMMC の概要 | 38 |
| メモリーカードを使う..... | 39 |
| USB 機器を使う | 42 |
| 画面表示機能 | 44 |
| サウンド機能 | 53 |
| 無線 LAN 機能..... | 54 |
| Bluetooth 機能..... | 61 |
| インターネットを使用する際のセキュリティー対策..... | 66 |
| 省電力機能 | 71 |

Windows 8.1 の基本操作

ここでは、Windows 8.1 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.24
- スタート画面  p.26
- チャーム  p.27
- アプリ  p.29
- デスクトップ  p.30
- そのほかの操作  p.33

詳細な操作方法は、次の場所をご覧ください。

- スタート画面の [ヘルプ+使い方]
- PC お役立ちナビの「お役立ち」
 p.4 「PC お役立ちナビ」

起動と終了


Windows 8.1 の起動方法 / 終了方法を説明します。

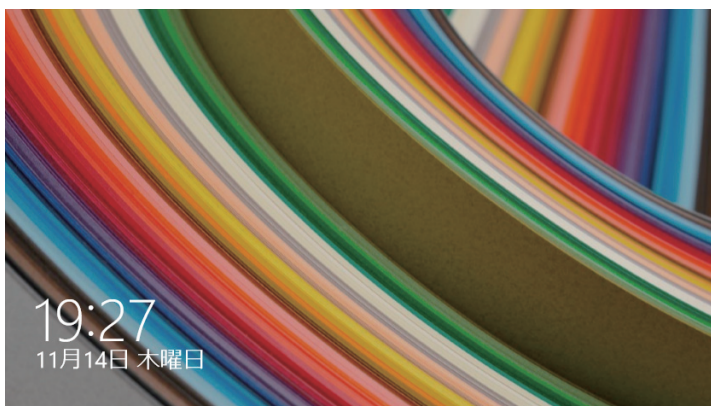
起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。


！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、eMMC などの動作を安定させます。

- 1** ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。
- 2** 電源スイッチ () を押して、本機の電源を入れます。
- 3** パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。
 - 1** ロック画面をクリックします。



<イメージ>

- ② パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して  を押します。

Windows が起動し、スタート画面が表示されます。

 p.26 「スタート画面」

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

● シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

● PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

別のキーボードやマウスを接続したり、周辺機器を接続 / 交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。

 p.101 「再起動」

！ 制限

- eMMC アクセス中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っても、AC アダプターがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから AC アダプターを抜いてください。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

📖 参考


終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする時、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

設定メニュー (p.28) やスタートメニュー (p.33) からシャットダウンすることもできます。


- 1 スタート画面右上の  をクリックし、表示された項目から「シャットダウン」をクリックします。

Windows が終了します。

- 2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。

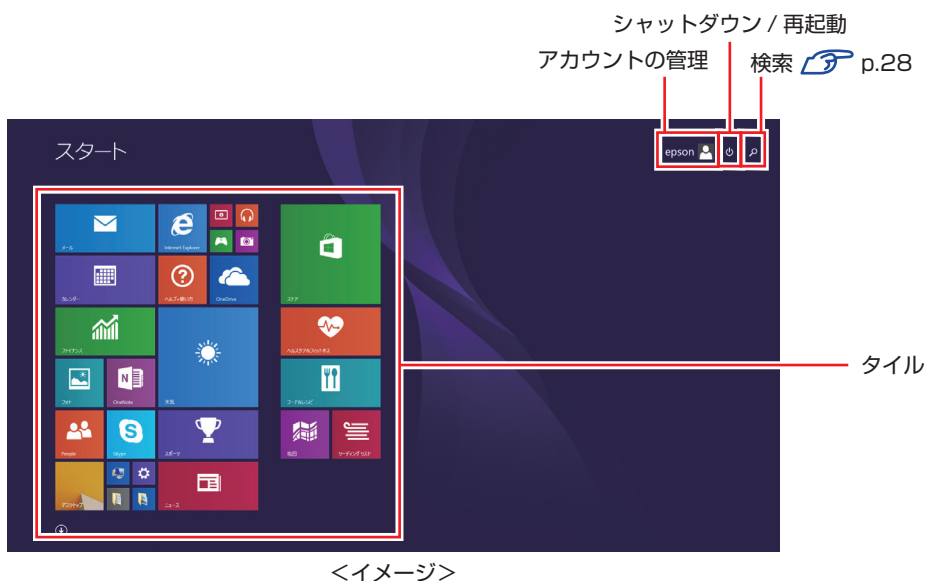
PCの電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

- 1** スタート画面右上の  をクリックし、**[Shift]** を押しながら「再起動」をクリックします。
- 2** 表示されたメニューで「PCの電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 3** ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。

スタート画面

本機の電源を入れ、Windowsが起動すると、スタート画面が表示されます。これがWindows 8.1の基本画面です。画面上の各タイルをクリックすると、アプリ (p.29) やデスクトップ (p.30) が起動します。



画面右上のボタンを押すと、アカウントの管理や検索、シャットダウン/再起動を行うことができます。



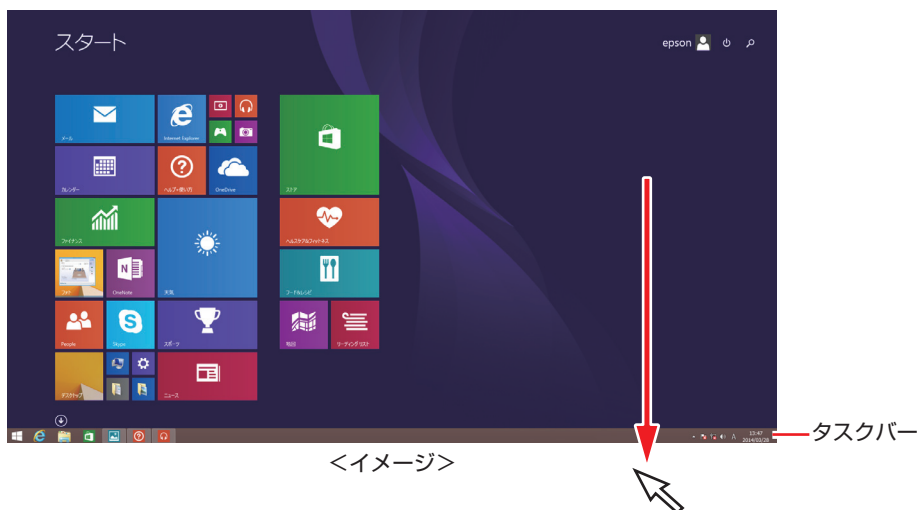
参考

キーボード入力で検索する

スタート画面が表示されている状態で、キーボードで文字入力を始めると、自動的に検索メニューへ遷移することができます。

タスクバー



ポインターを画面下へ動かすと、タスクバーが表示されます。



※ タスクバーは、デスクトップ画面 (p.30) では常に表示されます。

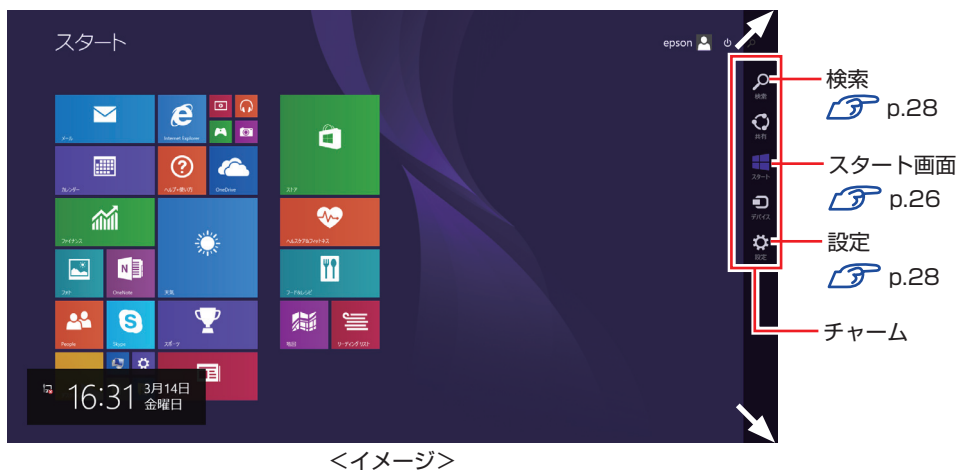
チャーム

画面右上隅または右下隅にポインターを合わせると、画面右側にチャームが表示されます。

※ キーボードの  +  でも表示できます。

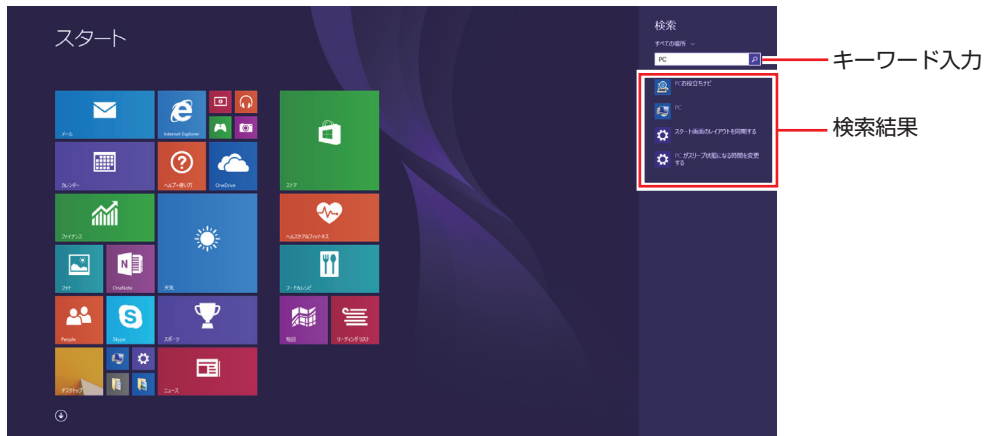
設定やファイル、情報を探る場合は検索チャームを、シャットダウン / 再起動、音量の調整などを行うときは、設定チャームをクリックします。

※ チャームは、スタート画面だけでなく、各アプリの画面上でも表示されます。



検索メニュー

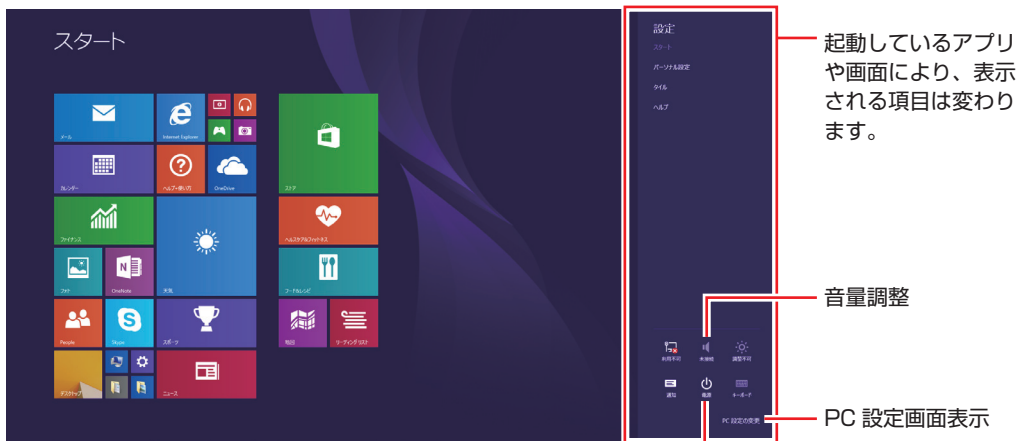
検索チャームをクリックすると、検索メニューが表示されます。
インターネットに接続している状態で検索を行うと、Bing の検索結果も同時に表示されます。



<イメージ>

設定メニュー

設定チャームをクリックすると、設定メニューが表示されます。



<イメージ>

シャットダウン / 再起動

アプリ

スタート画面に表示されているタイルをクリックすると、アプリが起動します。
アプリには次の2種類があります。

●Windows ストア アプリ

スタート画面上で動作するアプリです。

Internet Explorer、メール、フォト、カレンダーなど

Windows ストア アプリは、Windows ストアからダウンロードすることができます。



●Windows アプリ

デスクトップ上で動作するアプリです。

PC お役立ちナビ、Adobe Reader、Internet Explorer など



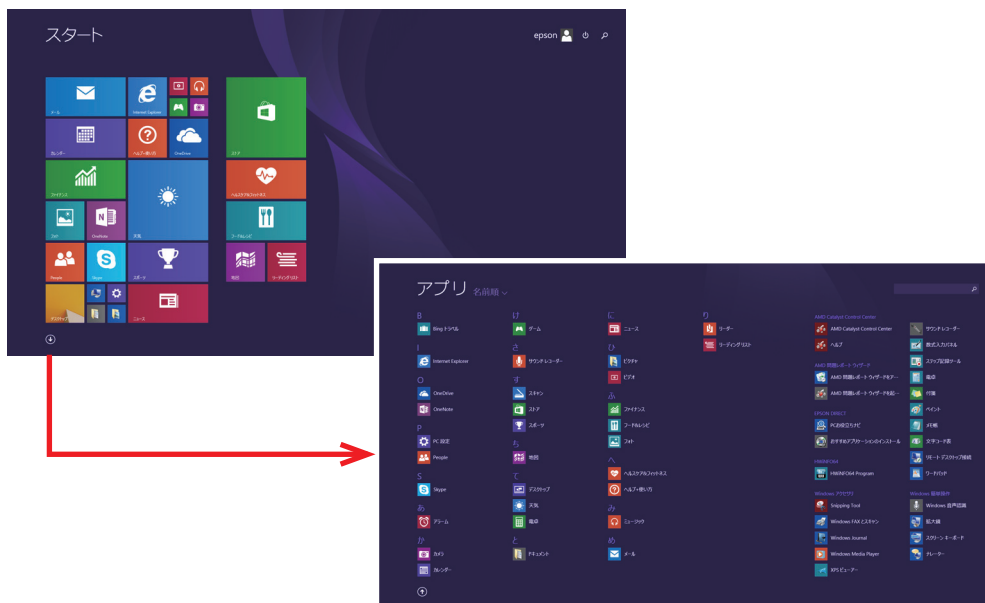
各アプリの詳細説明は、次の場所をご覧ください。



[\[PC お役立ちナビ\]](#) - [\[お役立ち\]](#)

アプリ一覧を表示する

スタート画面左下の  をクリックすると、アプリの一覧が表示されます。

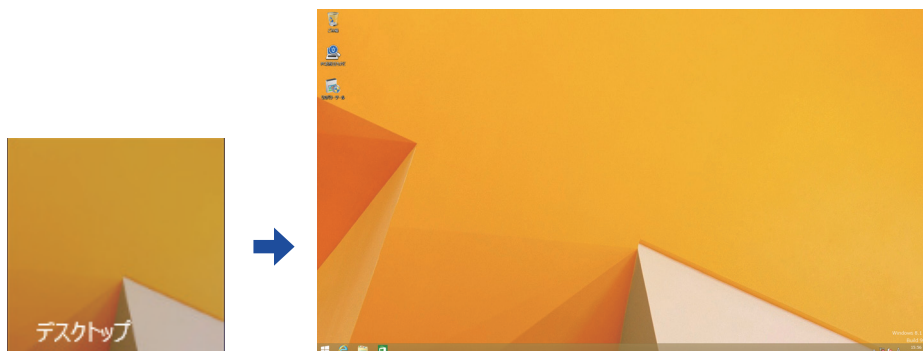


<イメージ>

- 後からインストールしたアプリは、一覧に追加されます。
- アプリは、スタート画面やタスクバーに表示（ピン留め）することができます。アプリアイコン上で右クリックし、表示されたメニューから設定してください。

デスクトップ

スタート画面でデスクトップタイルをクリックすると、Windows のデスクトップが表示されます。デスクトップ画面では、Windows アプリやエクスプローラーを使用することができます。



<イメージ>




参考


サインイン時にデスクトップを表示する

Windows 8.1 では、サインイン時にデスクトップ画面が表示されるように設定することができます。設定は次の場所で行います。

タスクバー上で右クリック - 「プロパティ」 - 「ナビゲーション」タブ - 「サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する」

スタート画面に戻る

タスクバー左側のスタートボタン  をクリックすると、スタート画面に戻ります。

※キーボードの  でも戻ることができます。



スタートボタン

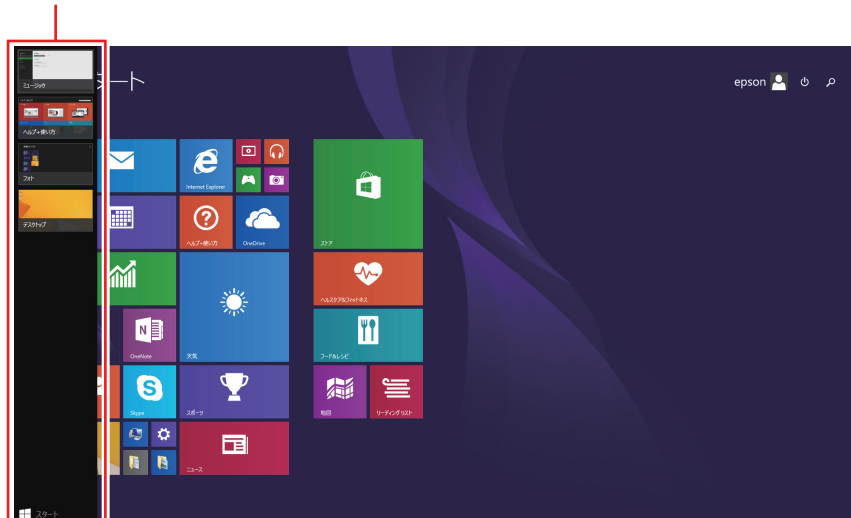
起動中のアプリを切り替える

起動中のアプリを切り替える方法は、次の2つがあります。

プレビュー表示で切り替える

画面左上隅から下へまたは画面左下隅から上へポインターをスライドさせると、起動中のアプリがプレビュー表示されます。一覧から使用するアプリをクリックして切り替えます。

起動中のアプリ



<イメージ>

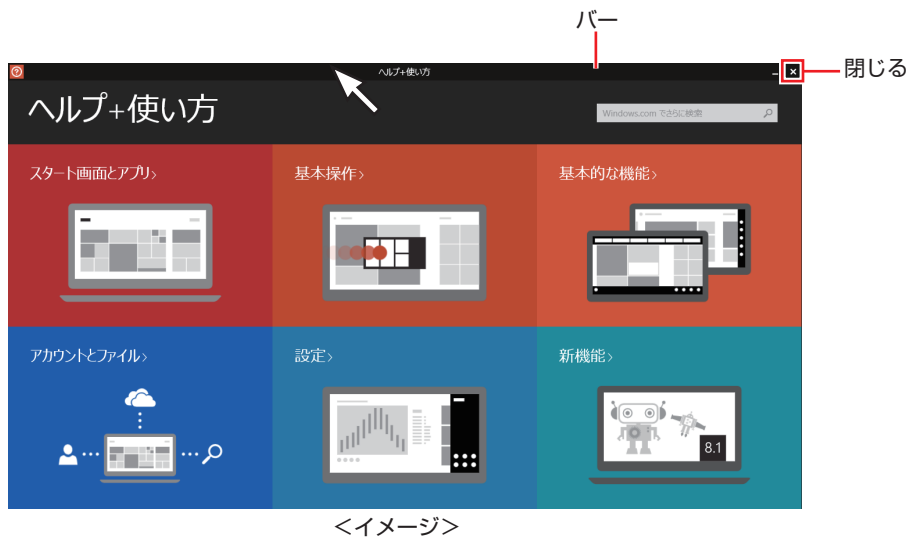
タスクバー上のアイコンで切り替える

タスクバーから使用するアプリのアイコンをクリックして切り替えます。



Windows ストア アプリを終了する

起動中の Windows ストア アプリを終了する場合は、画面上部にポインターをあわせ、バーが表示されたら、右上の **X** を押して画面を閉じます。



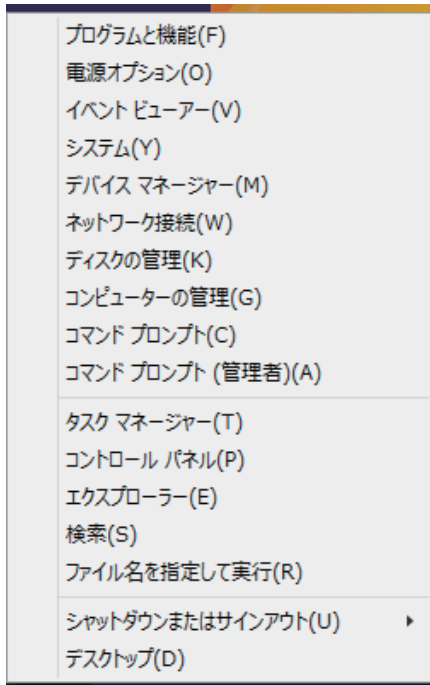
プレビュー表示 (p.31) やタスクバーのアイコン (p.32) を右クリックして表示されるメニューで、終了することもできます。

そのほかの操作

スタートメニュー

























画面左下隅で右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。メニューからシャットダウンや再起動も選択できます。

※キーボードの  +  でも表示できます。



キーボードショートカット一覧

スタート画面で使えるキーボードショートカットの一部を紹介します。

| キー | 動作 |
|---|--|
|  | スタート画面表示  p.26 |
|  +  | チャームと時計表示  p.27 |
|  +  | 設定メニュー表示  p.28 |
|  +  | アプリ検索  p.26 |
|  +  | 設定検索  p.26 |
|  +  | ファイル検索  p.26 |
|  +  | スタートメニュー表示  p.33 |
|  +  +  | 起動中アプリ一覧表示  p.31 |
|  +  | 起動中アプリの切り替え  p.31 |

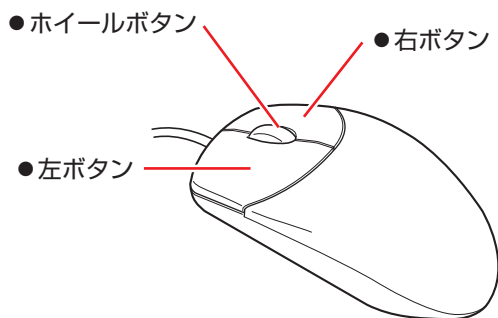
マウスを使う

ここでは、一般的なマウスについて説明します。

マウスの操作

！ 制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- アプリによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

| | |
|-------------|---|
| クリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。 |
| ダブルクリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。 |
| 右クリック | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。 |
| ドラッグアンドドロップ | マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。 |
| スクロール | ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。 |

マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

簡易設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「マウスとタッチパッド」

詳細設定

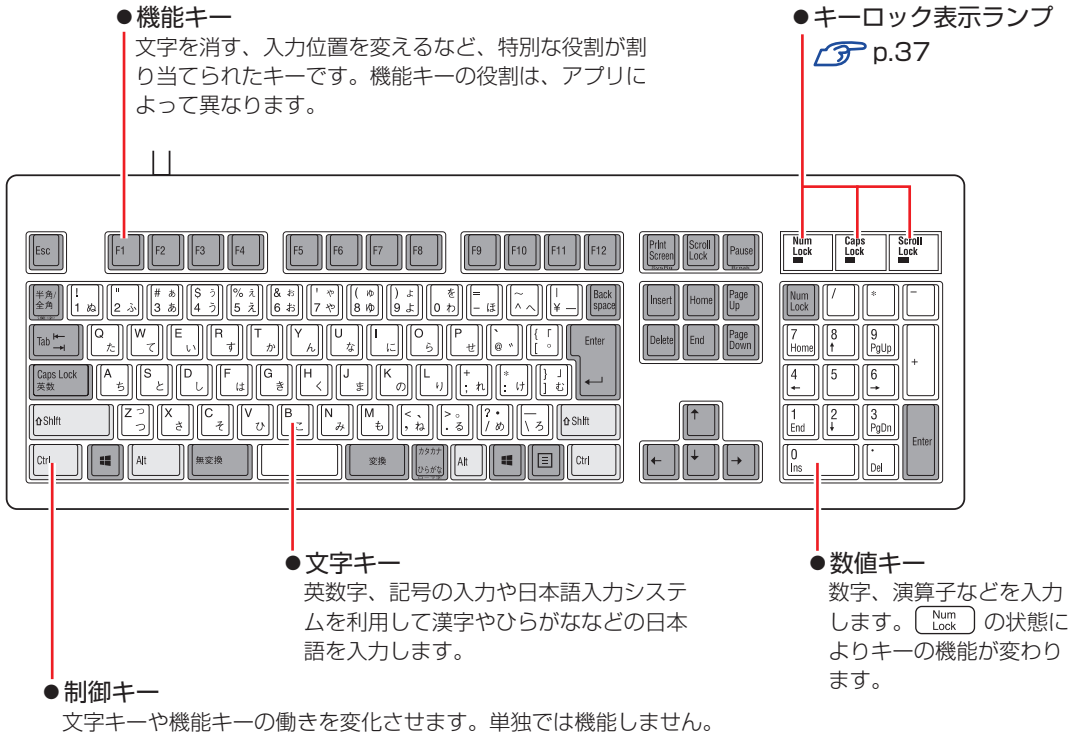
画面左下隅で右クリック - 「コントロール パネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」

キーボードを使う

ここでは、一般的なキーボードについて説明します。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。




文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって、入力される文字は異なります。

| | | |
|----------|--------|---------------------------------------|
| 直接入力モード | | キートップのアルファベットをそのまま入力します。 |
| 日本語入力モード | ローマ字入力 | キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。 |
| | かな入力 | キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。 |

入力モードの切り替え

を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

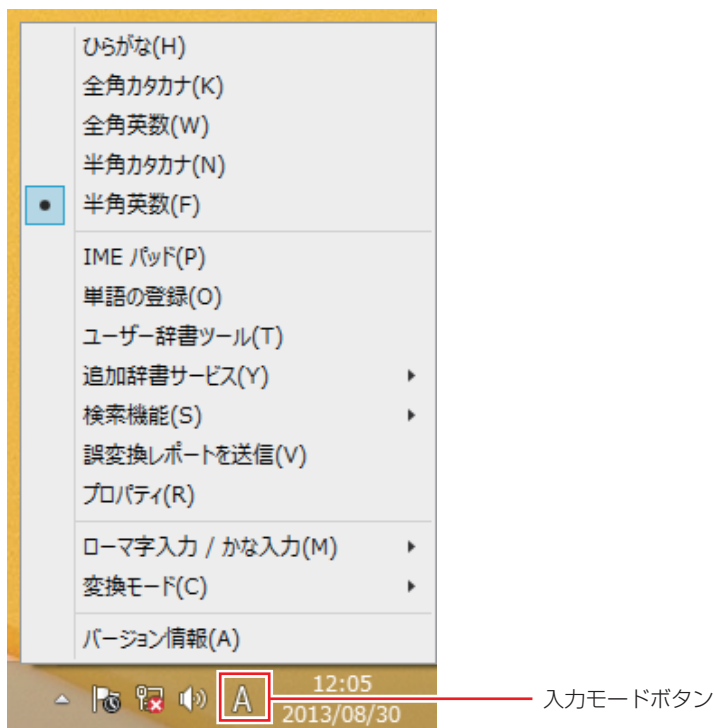
MS-IME の設定は、次の場所で行うことができます。

- PC 設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「時刻と言語」 - 「地域と言語」
- 「日本語」 - 「オプション」 - 「Microsoft IME」 - 「オプション」

- デスクトップ








デスクトップ通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、一覧が表示されます。



MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

| | | |
|-------------|------|--|
| Num Lock | 役割 | 数値キーの状態を切り替え |
| | 切り替え |  を押します。 |
| | 点灯時 | 数値を入力 |
| | 消灯時 | カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。 |
| Caps Lock | 役割 | アルファベットの太文字 / 小文字の切り替え |
| | 切り替え |  +  を押します。 |
| | 点灯時 | 大文字を入力 |
| | 消灯時 | 小文字を入力 |
| Scroll Lock | 役割 | アプリによって異なります。 |
| | 切り替え |  を押します。 |

eMMC の概要

本機には、記憶装置として eMMC が搭載されています。

！ 制限

- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると eMMC が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- eMMC が故障した場合、eMMC のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

eMMC に記録されている重要なデータは、USB HDD などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 eMMC の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

購入時の eMMC 領域

購入時、eMMC の領域は、次のように設定されています。

※ パーティションスタイルは GPT に設定されています。

| 領域 | 容量 |
|--------|-------|
| システム | 100MB |
| MSR | 128MB |
| C ドライブ | 残り |
| リカバリー | 6GB |

リカバリー領域

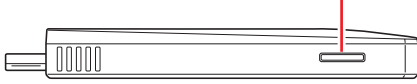
「リカバリー領域」には、PC のリフレッシュのためのデータが設定されています。この領域を削除すると再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

メモリーカードを使う

本機にはメモリーカードスロットが装備されています。

メモリーカードは、デジタルカメラなどで使用するメディアで、コンピューターとのデータ交換に使われます。

メモリーカードスロット



本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、マイクロ SD メモリーカードです。イラストはイメージです。



マイクロ SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応>*

*記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。



制限

著作権保護機能には対応していません。

メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- メモリーカードアクセス中に、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。カードのデータが破損するおそれがあります。
- メモリーカードは、データの書き込み中に電源の供給が停止すると不具合が発生する可能性があります。データの書き込み中は、本機を省電力状態にしないでください。
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットは必ず、メモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのセットと取り出し

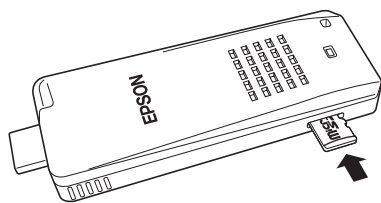
メモリーカードのセットと取り出し方法について説明します。

メモリーカードのセット

メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。

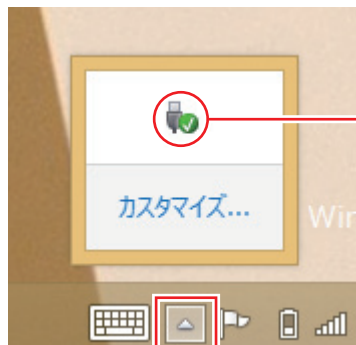
- 1** メモリーカードのラベル面を上（端子面を底面側）に向け、メモリーカードスロット（mspro）に挿入します。

爪の先でカードを奥までしっかりと押し込みます。



- 2** 認識されると、メモリーカードが使用できます。

正しくセットされると、デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り出し」アイコンが表示されます。



取り出しアイコン

メモリーカードの取り外し

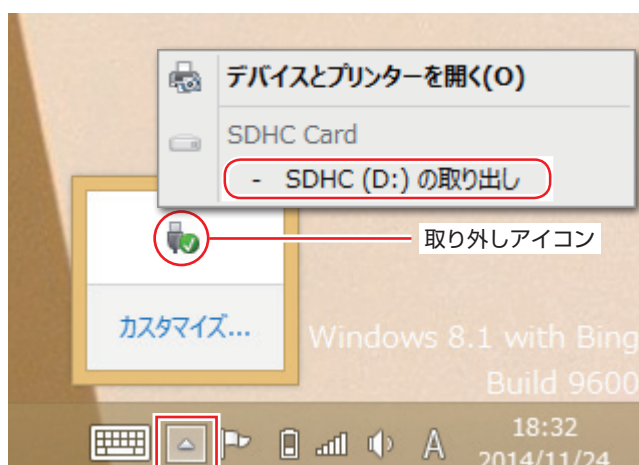
メモリーカードの取り外し方法は、次のとおりです。

1 メモリーカードの終了処理を行います。

本機の電源を切った場合、終了処理は不要です。2に進みます。

- 1 開いているファイルを閉じます。
ファイルを閉じないと、終了処理ができません。
- 2 デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」 アイコンをクリックします。
- 3 表示されたメニューから、「(取り出したいメモリーカード) の取り出し」 を選択します。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

2 メモリーカードを取り外します。

- 1 爪の先でメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押します。
- 2 少し出てきたメモリーカードをまっすぐに引き抜きます。

取り出したメモリーカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

USB 機器を使う

本機には USB 2.0 コネクタが 1 個搭載されています。



接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

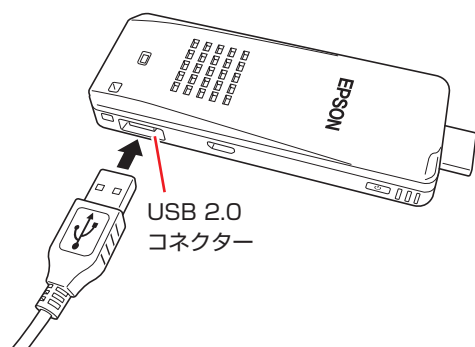
USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1 USB 機器を、本機の USB 2.0 コネクタ（) に接続します。



- 2 USB 機器によっては、デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

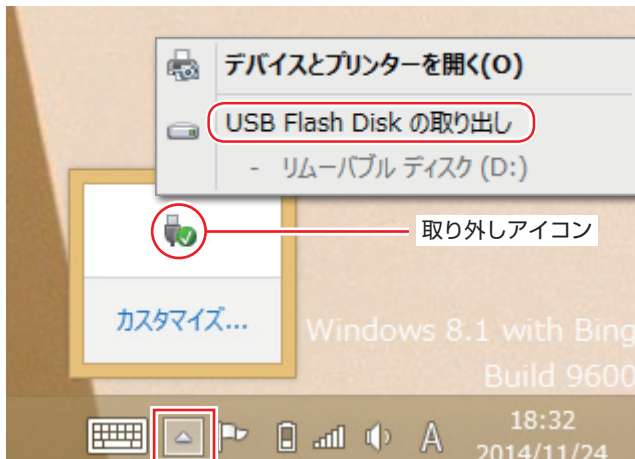
- USB 機器の終了処理をして取り外す

デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了処理と取り外しの手順は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコン - 「(取り外したい USB 機器) の取り出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

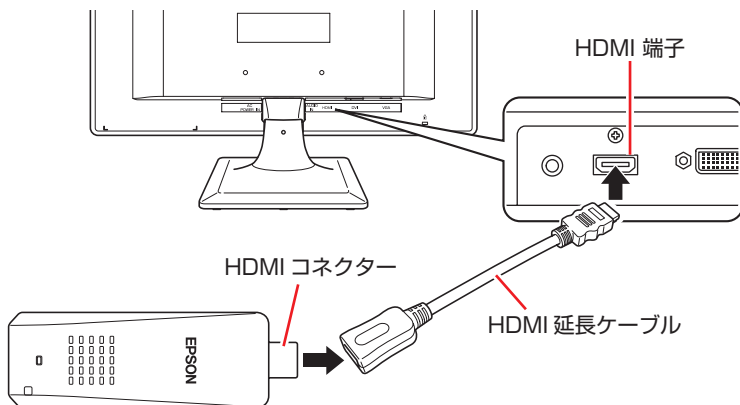
- 2** 機器を本機から取り外します。

画面表示機能

本機には画面表示機能が搭載されています。
ここでは、接続できるディスプレイ（テレビ）や解像度などの設定方法について説明します。


ディスプレイの接続

本機には、HDMI コネクタが搭載されており、HDMI 端子のあるディスプレイ（テレビ）に接続することができます。



制限

ディスプレイ（テレビ）に本機を接続する際は、必ず同梱の HDMI 延長ケーブルを使用してください。本機を直接ディスプレイ（テレビ）に接続すると、ほかの端子に干渉したり、環境によっては動作保証温度を超えたりする場合があります。

本機はワイヤレスディスプレイにも対応しています。接続方法は  p.47「ワイヤレスディスプレイを使用する」をご覧ください。

表示できる解像度と表示色

本機の画面表示機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。

- 解像度 ピクセル（横×縦）

1024 × 768

1280 × 720 *

1280 × 960 *

1280 × 1024

1680 × 1050 *

1920 × 1080 *

* ワイド表示

- 表示色

32ビット



制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。接続するディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 解像度が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度を下げてください。

表示に関する各種設定

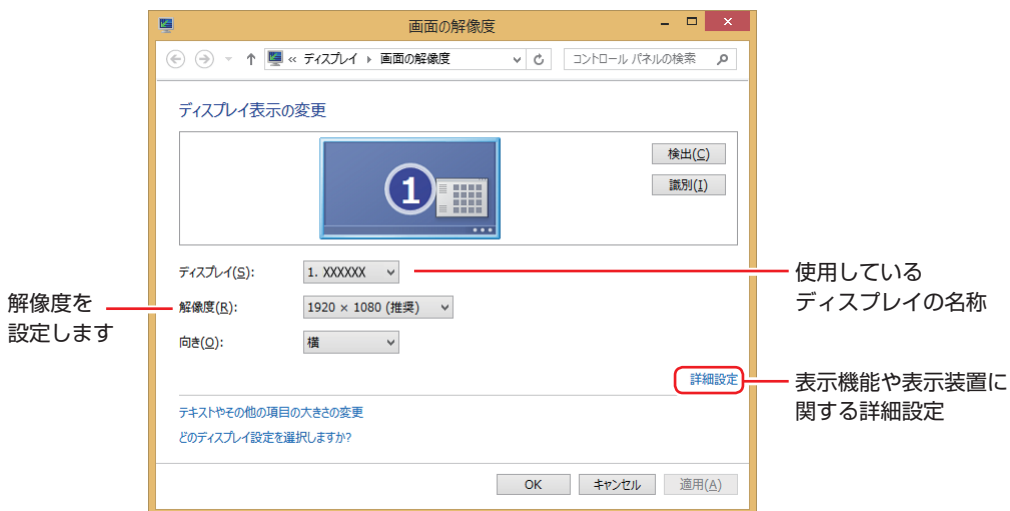
画面表示に関する設定は次の場所で行います。

簡易設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「ディスプレイ」

詳細設定

画面左下隅で右クリック - 「コントロール パネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「画面の解像度の調整」



ワイヤレスディスプレイを使用する

本機はワイヤレスディスプレイに対応しています。
無線 LAN を使用して、画面や動画などを、ワイヤレス対応のディスプレイやテレビに表示することができます。
ワイヤレスディスプレイ接続中も、無線 LAN でのインターネットの利用は可能です。

注意事項

ワイヤレスディスプレイを使用する際の注意事項について記載します。

表示に関する注意

表示に関する注意事項は、次のとおりです。

- UEFI Setup ユーティリティ、Windows 起動中の画面、およびシャットダウン中の画面は外部ディスプレイに表示できません。
- ワイヤレスで接続すると、音声はワイヤレスディスプレイからの出力に切り替わります。
- ワイヤレスで表示した画面では、マウスポインターやウィンドウの移動、入力した文字などの表示に遅延が生じます。

使用に関する注意

使用時の注意事項は、次のとおりです。

- 無線 LAN 機能がオフの場合は、ワイヤレスディスプレイを使用できません。
- ワイヤレスディスプレイの接続は、無線 LAN 機能を使用するため、ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因で、テレビやディスプレイに画面が表示されない場合や、画面（画像）が乱れる場合があります。画質は、接続したテレビやディスプレイの仕様により異なります。
- ワイヤレスディスプレイの接続と無線 LAN で、同時にインターネット接続して使用する場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続が完了してから、ワイヤレスディスプレイの接続を行ってください。

ワイヤレスディスプレイの検出・追加

ワイヤレスディスプレイを使用する場合、ワイヤレスディスプレイを検出して、追加する必要があります。

ワイヤレスディスプレイを検出・追加する方法は次のとおりです。

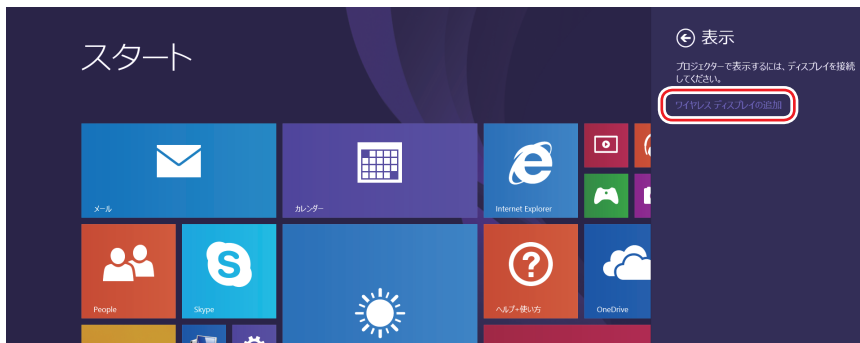
※作業は HDMI 接続のディスプレイに表示して行ってください。

- 1** ワイヤレスディスプレイを本機の近くに設置します。

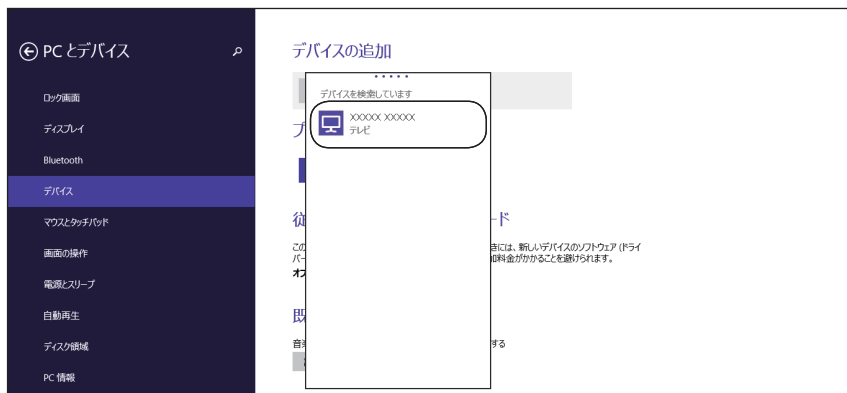


2 ワイヤレスディスプレイを検出し、デバイスに追加します。

- 1 チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」 - 「ワイヤレスディスプレイの追加」をクリックします。



- 2 表示されたワイヤレスディスプレイを選択します。
以降は画面の指示に従って接続してください。





これで追加作業は完了です。

ワイヤレスディスプレイを追加すると、次回からは追加作業は不要です。次の操作で接続できます。

チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」 - 表示されたワイヤレスディスプレイを選択

画面表示を切り替える

画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

- チャームから切り替える  p.49
簡単な操作で画面表示の切り替えができます。
- ユーティリティで切り替える  p.50
画面表示の切り替えと詳細な設定ができます。



解像度の異なるディスプレイを接続して複製に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。

チャームから切り替える

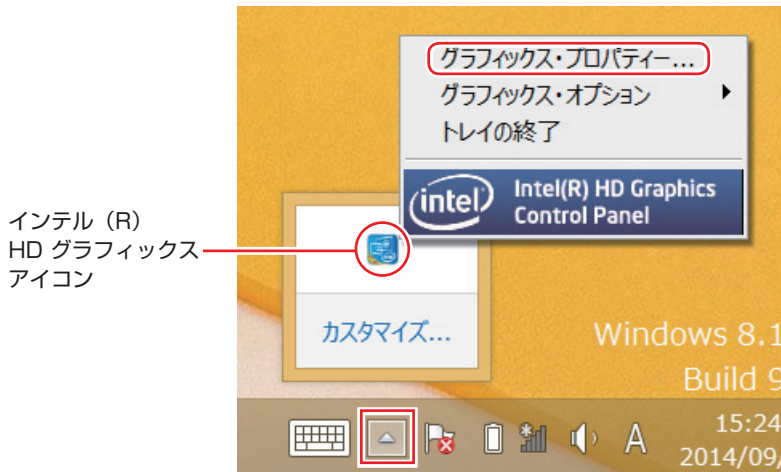
- 1** チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」をクリックします。
- 2** 一覧から表示方法を選んでクリックします。



ユーティリティーで切り替える

ユーティリティーでの画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ通知領域の [△] – 「インテル(R)HD グラフィックス」アイコンをクリックし、「グラフィックス・プロパティ…」を選択します。

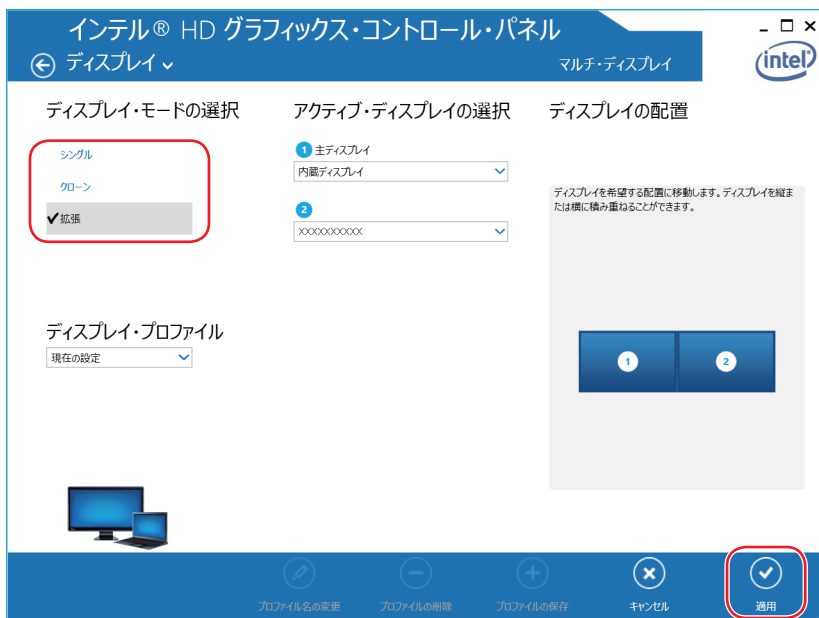


- 2 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」画面が表示されたら、「ディスプレイ」を選択します。
- 3 「ディスプレイ」タブをクリックして、表示された一覧から「マルチ・ディスプレイ」を選択します。



4 「ディスプレイ・モードの選択」でモードを選択し、「適用」をクリックします。

「拡張」を選択した場合は、「①主ディスプレイ」を設定します。主ディスプレイに「スタート」メニューやタスクバーが表示されます。



5 「新しい設定が適用されました。これらの設定を保持しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

これで画面の切り替えは完了です。

6 設定した内容をディスプレイ・プロファイルとして保存する場合は、「プロファイルの保存」をクリックして、表示された画面にプロファイル名を入力し、「OK」をクリックします。

ディスプレイ・プロファイルとして保存しておけば、プロファイル名を選択し、適用するだけで、設定した画面表示に切り替えることができます。





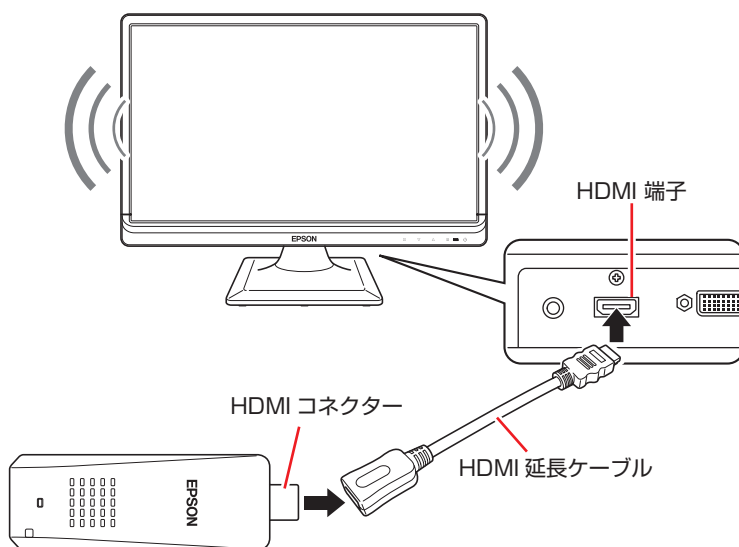
グラフィックス・オプションから設定する

ディスプレイの表示の切り替えは、次の場所からも行えます。

デスクトップ通知領域の [△] – 「インテル (R) HD グラフィックス」
アイコンをクリック – 「グラフィックス・オプション」 – 「出力先」

サウンド機能

本機には HDMI コネクタが搭載されています。HDMI 接続でディスプレイ（テレビ）へ画像とともに音声を出力することができます。



制限

ディスプレイ（テレビ）に本機を接続する際は、必ず同梱の HDMI 延長ケーブルを使用してください。本機を直接ディスプレイ（テレビ）に接続すると、ほかの端子に干渉したり、環境によっては動作保証温度を超えたりする場合があります。

音量の調節

Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の場所で音量を調節します。

- チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「スピーカー」



<スピーカー>

- タスクバー右側通知領域の「スピーカーアイコン（白色）」

アイコンをクリックして「ボリュームコントロール」が表示されたら、つまみを上下にドラッグします。

無線 LAN 機能

本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

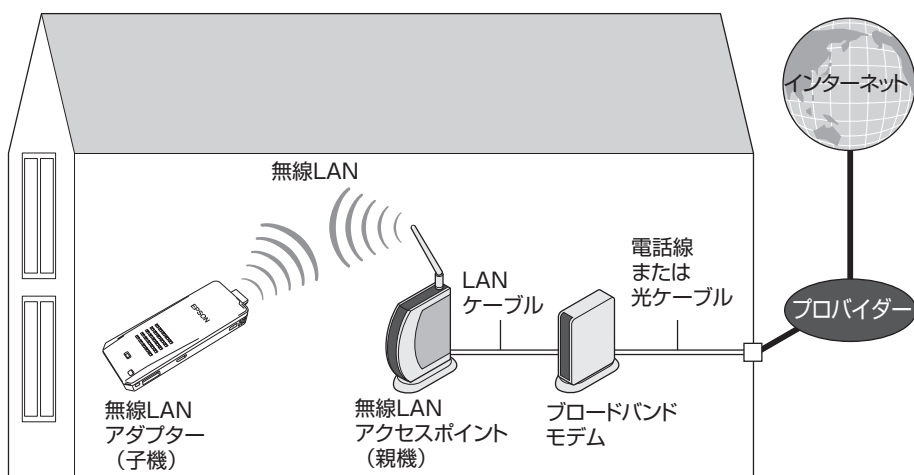
準拠規格

本機に内蔵されている無線 LAN アダプターは、次の規格に準拠しています。

- IEEE802.11b/g/n

無線 LAN の概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

| 本書での表記 | 別名 |
|-----------------|--|
| 無線 LAN | ワイヤレス LAN、Wi-Fi |
| 無線 LAN アクセスポイント | 親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、無線 LAN ルーター |
| 無線 LAN アダプター | 子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント |
| SSID | ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子 |

無線LAN使用時の注意

無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。



- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線 LAN 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

！ 制限

- ・ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は本機を再起動してください。
- ・ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- ・本機の無線 LAN 機能は、Wake up On LAN とリモートブートには対応していません。

電波に関する注意

無線 LAN は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- 本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており 2.4GHz の周波数帯を使用します。
- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - 1 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - 3 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

無線LAN機能のオン/オフ方法

無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。



無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

- 1** 画面右上隅または右下隅にポインターを合わせ、チャームを表示します。
- 2** 設定チャームをクリックします。

3 設定メニューが表示されたら、「無線 LAN アイコン」をクリックします。



※機内モードがオンになっている場合は、次のアイコンが表示されています。



<機内モードアイコン>

4 ネットワークメニューが表示されたら、「Wi-Fi」のバーをクリックします。

バーをクリックするたびに無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。



参考

機内モード

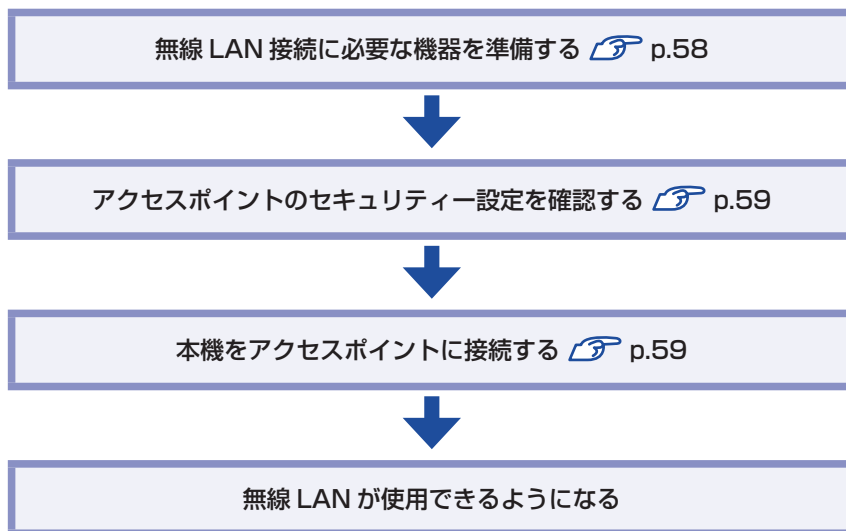
機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧になり、設定を行ってください。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。



参考

かんたん接続機能

アクセスポイントによっては、かんたん接続機能で無線 LAN 接続できる場合があります。まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に必要な機器を準備する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

●ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）

インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

●無線 LAN アクセスポイント

本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものを用意してください。ブロードバンドモデムに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されている場合は不要です。

アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続して、電源を入れてください。詳しくは、各機器に添付のマニュアルを参照してください。

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。

アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定(暗号化キー)を確認してください。セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定されている暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。

この作業は初めて接続するときのほかに暗号化キーを変更したときや、Windows の再インストールをした場合にも行います。

1 本機の無線 LAN 機能をオンにします。

 p.56 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

2 アクセスポイントに接続します。

- 1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「無線 LAN アイコン」 をクリックします。



<無線 LAN アイコン>

- 2 ネットワークメニューが表示されたら、接続するアクセスポイントの SSID を選択し、[接続] をクリックします。

※ 接続するアクセスポイントの SSID が表示されない場合は、アクセスポイントの状態を確認してください。



<イメージ>

- ③ ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力し、[次へ] をクリックします。
- ※ PIN 入力画面が表示された場合は、アクセスポイントのラベルに印字された PIN を入力してください。



これで接続作業は完了です。

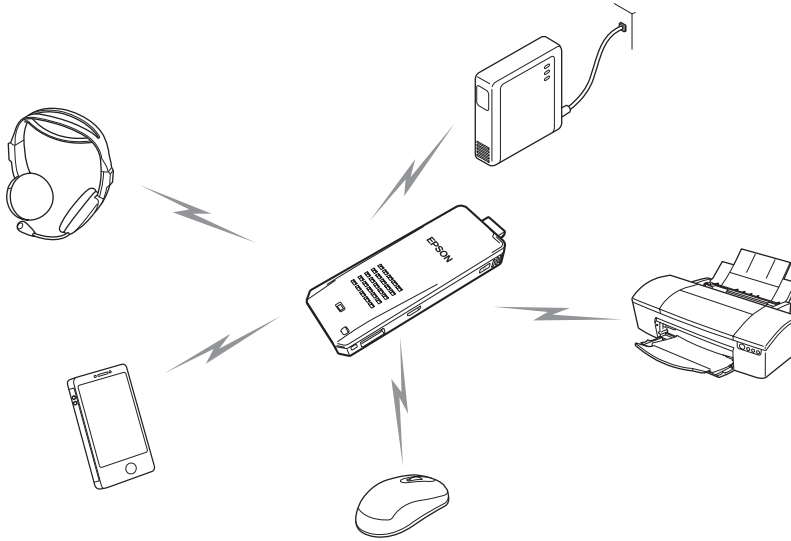
ネットワークプロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「ネットワークプロファイル」として自動的に保存されます。ネットワークプロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

Bluetooth 機能

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。

Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



仕様

本機に搭載されている Bluetooth 機能の仕様は、次のとおりです。

| 規格 | 周波数帯 |
|-------------------------------------|--------|
| Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0 + EDR、LE 対応 | 2.4GHz |

Bluetooth機能をお使いの前に



- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

電波に関する注意

Bluetooth機能は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- ・本機のBluetooth機能は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。そのため、本機のBluetooth機能を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・本機のBluetooth機能は、技術基準適合証明を受けていますので、本機を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- ・2.4GHz付近の電波を通信している無線装置などの近くで通信すると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、使用しないでください（環境により電波が届かない場合があります）。
- ・本機のBluetooth機能の使用する電波が、次の機器や無線局と電波干渉するおそれがあります。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

万一、本機の Bluetooth 機能と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または運用を停止（電波の発信を停止）してください。

- Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、Bluetooth 機能、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。
- 本製品は電波を利用したワイヤレス機器です。本製品を使用する環境によっては通信速度の低下や、接続が一時的に切断されるなどの現象が発生する場合がありますが、故障ではありません。

通信可能な距離



制限

通信可能距離は通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

通信時の確認事項

Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください。
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

Bluetooth 機能のオン / オフは、PC 設定の画面で行います。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」をクリックし、右側に表示された「Bluetooth」のバーをクリックします。

バーをクリックするたびに Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。



参考

機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

周辺機器の検出・追加

新規で周辺機器を使用する場合、周辺機器を検出して、追加する必要があります。




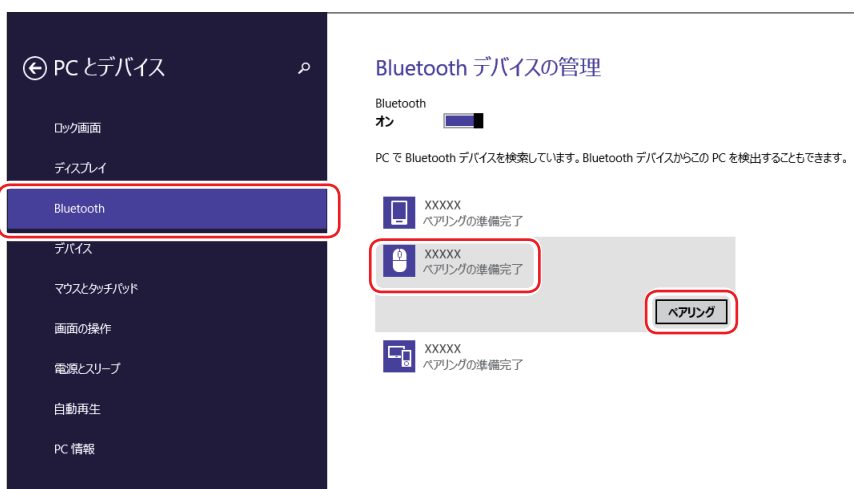
参考

パスコード

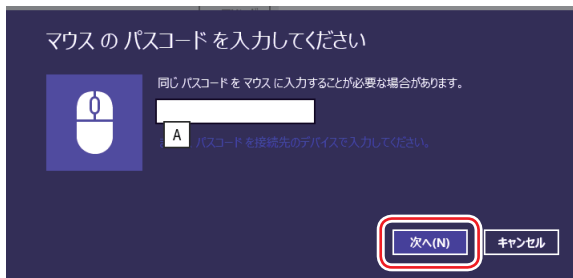
周辺機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。この場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

周辺機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

- 1** 周辺機器を本機の近くに設置します。
- 2** 本機の Bluetooth 機能を「オン」にします。
 p.63 「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」
- 3** 周辺機器の電源を入れ、ペアリングモードにします。
手順は周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- 4** 周辺機器を検出し、ペアリングします。
ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。
 - 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」 をクリックします。
 - 2** 表示されたデバイス (マウス) を選択し、[ペアリング] をクリックします。



- ③ パスコードの入力画面が表示された場合は入力して「次へ」をクリックします。
マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。



ペアリング完了後、マウスを動かしてみて、操作できることを確認してください。

これで周辺機器の検出・追加は完了です。

周辺機器を使用する

追加が完了すると、周辺機器を使用できるようになります。
一度追加を行うと、次回以降は自動的に周辺機器に接続します。

接続を解除する場合

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」の一覧に表示されているデバイスを選択し、「デバイスの削除」をクリックします。



インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

自動更新の設定

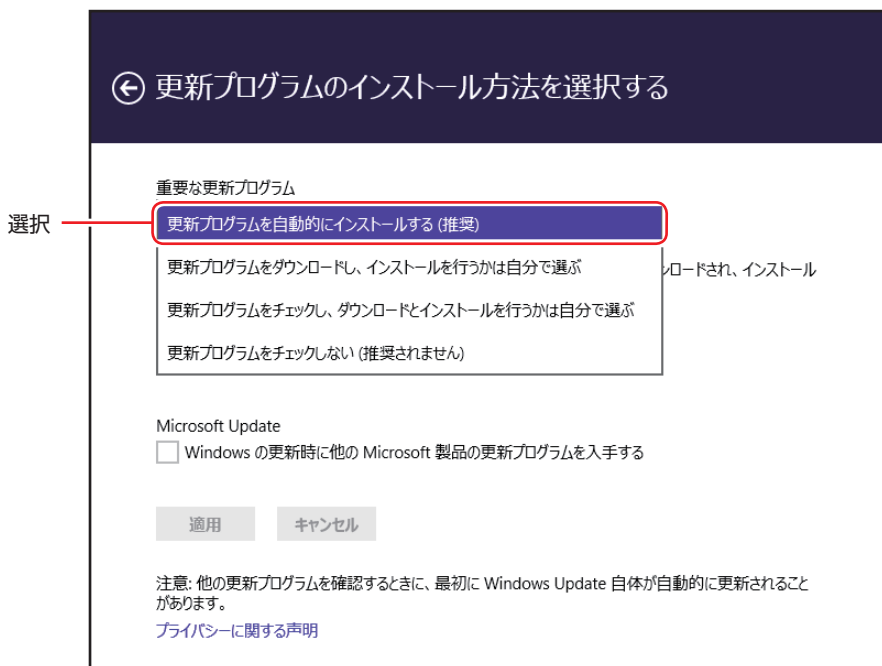
本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

初期状態では、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「Windows Update」 - 「更新プログラムのインストール方法を選択する」



「コントロール パネル」で設定することもできます。

画面左下隅で右クリック - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「設定の変更」

セキュリティアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティアプリを必ず使用してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版を使う

本機には、セキュリティアプリとして、「ウイルスバスター クラウド 90 日版」が添付されています。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のインストール

購入時、ウイルスバスター クラウド 90 日版はインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

スタート画面左下の  - 「おすすめアプリケーションのインストール」

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド 90 日版をインストールしないでください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版の使用方法

ウイルスバスター クラウド 90 日版は、デスクトップの「ウイルスバスター クラウド」アイコンから起動します。



<ウイルスバスター クラウドアイコン>

使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。



ウイルスバスター クラウド 90 日版を一時的に無効にするには

お使いのアプリなどで、ウイルスバスター クラウド 90 日版を「無効」にするよう指示があった場合は、一時的にウイルスバスター クラウド 90 日版の機能を「無効」にします。

機能を「無効」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で設定し、作業が終わったら、必ず「有効」に戻してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のアンインストール

市販のセキュリティーアプリを使用する場合や、お使いのソフトウェアなどで指示があった場合には、ウイルスバスター クラウド 90 日版をアンインストールします。

アンインストール方法は、次のとおりです。

1 画面左下隅で右クリック – 「コントロール パネル」 – 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

2 「プログラムのアンインストールまたは変更」と表示されたら、「ウイルスバスタークラウド」を選択して「アンインストール」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってアンインストールを行ってください。

90 日の期限が来たら

本機に添付のウイルスバスター クラウドには、一定の有効期間（製品使用開始から 90 日間）が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やアプリの自動バージョンアップが行われなくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変危険です。

90 日の期限が切れた場合は、使用を継続するための更新手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応することができるようになります。

ウイルスバスター クラウド 90 日版の再インストール

Windows の再インストールをしたら、ウイルスバスター クラウド 90 日版をインストールします。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のサポート

正しく動作しない場合など、ウイルスバスター クラウド 90 日版に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

● 電話でのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）9:30 ～ 17:30

1. 操作、障害などのお問い合わせ

（インストール / バージョンアップ操作、設定方法、ウイルス、各種トラブル）

0570-019-610

2. ユーザー登録、契約更新のお問い合わせ

(契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更)

0570-064566

※ 一部の IP(光) 電話や PHS、海外からの発信など、ナビダイヤルをご利用になれない場合はこちらの番号におかけください。03-6738-6063

※ 通話料金はお客さまのご負担となります。

※ 番号のおかけ間違いにご注意ください。

● メールでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 24時間

以下の各種お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- **操作・設定・トラブル** バージョンアップ、操作、設定方法、各種トラブル、エラーに関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ts-step1.aspx>

- **ウイルス検出・駆除** ウイルス検出や駆除方法、その他ウイルス情報に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ve-step1.aspx>

- **契約更新・登録情報** 契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-cs-step1.aspx>

● チャットでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 9:00～21:00

以下のチャットお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- **チャットお問い合わせフォーム**

<https://esupport.trendmicro.com/jpprechatform/consumer/chatlogin.aspx>

● トレンドマイクロサポート WEB

<http://tmqa.jp/vbtop/>

市販のセキュリティアプリを使う

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド 90 日版をアンインストール(削除)してください。

 p.68 「ウイルスバスター クラウド 90 日版のアンインストール」

Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30 日版のインストール


購入時、i-フィルター 30 日版はインストールされていません。
使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

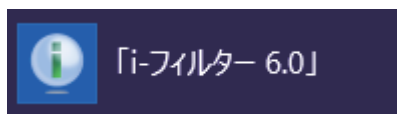
スタート画面左下の  - 「おすすめアプリケーションのインストール」

市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30 日版の申し込み

i-フィルター 30 日版を使用するには、申し込みが必要です。
申し込みはインターネットに接続した状態で行います。

スタート画面左下の  - 「i-フィルター 6.0」をクリックし、表示された画面の指示に従って、申し込みを行ってください。



参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能

ここでは、本機の省電力機能について説明します。
本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能を使っている通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、本機を再起動してください。

省電力設定

省電力状態の種類と設定方法を説明します。

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

※本機では「スリープ」は設定できません。

- ディスプレイの電源を切る

省電力の効果は低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

- 休止状態

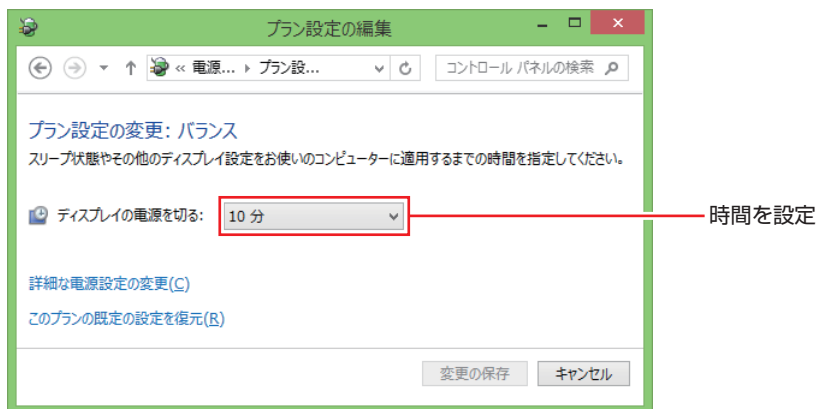
作業内容を eMMC に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

ディスプレイの電源を切る

本機は、操作しない状態で時間が経過すると、自動的にディスプレイの電源が切れるよう設定されています。

ディスプレイの電源を切るまでの時間は、次の場所で設定変更できます。

- チャームを表示 – 「設定チャーム」 – 「PC 設定の変更」 – 「PC とデバイス」 – 「電源とスリープ」
- 画面左下隅で右クリック – 「電源オプション」 – 各プランの「プラン設定の変更」




休止状態

本機を休止状態にする方法は次のとおりです。

1 画面左下隅で右クリック - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「現在利用可能ではない設定を変更します」 - 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェックを付け、[変更の保存] をクリックします。

2 次のいずれかの操作で休止状態へ移行します。

- ・スタート画面右上の  - 「休止状態」
- ・チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「電源」 - 「休止状態」
- ・画面左下隅で右クリック - 「シャットダウンまたはサインアウト」 - 「休止状態」

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプで確認できます。

| 電源の状態 | 電源ランプの表示 |
|--------------|----------|
| 通常 | 点灯（青色） |
| ディスプレイの電源切 | 点灯（青色） |
| 休止状態 | 消灯 |
| シャットダウン（電源切） | 消灯 |

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

| 省電力状態 | 電源ランプの表示 | 復帰方法 |
|------------|----------|----------------|
| ディスプレイの電源切 | 点灯（青色） | マウスやキーボードを操作する |
| 休止状態 | 消灯 | 電源スイッチを押す |

Endeavor 電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - 「FAQ 番号で検索」 -
FAQ 番号 : 21091

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

スタート画面左下の  - 「おすすめアプリケーションのインストール」

プランの変更方法

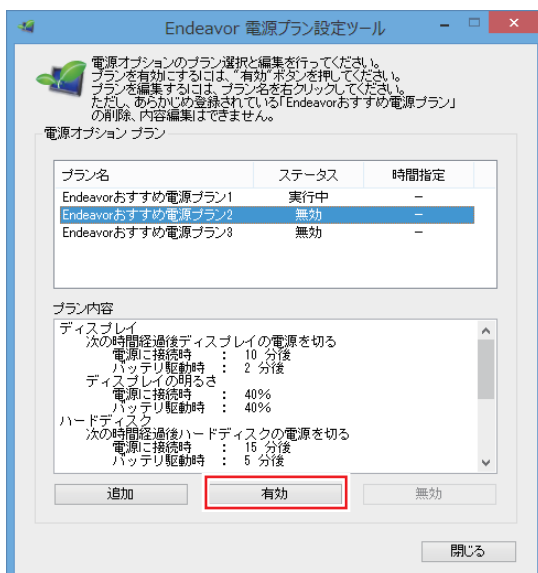
Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。

変更方法は、次のとおりです。

1 スタート画面左下の  - 「Endeavor 電源プラン設定ツール」をクリックします。



2 変更したいプランを選んで [有効] をクリックします。



おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - 「FAQ 番号で検索」 -
FAQ 番号 : 21091

2

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

| | |
|------------------------------|----|
| UEFI の設定を始める前に..... | 76 |
| UEFI Setup ユーティリティの操作..... | 77 |
| UEFI Setup ユーティリティの設定項目..... | 84 |

UEFI の設定を始める前に



当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーは電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.82 「Load Optimal Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

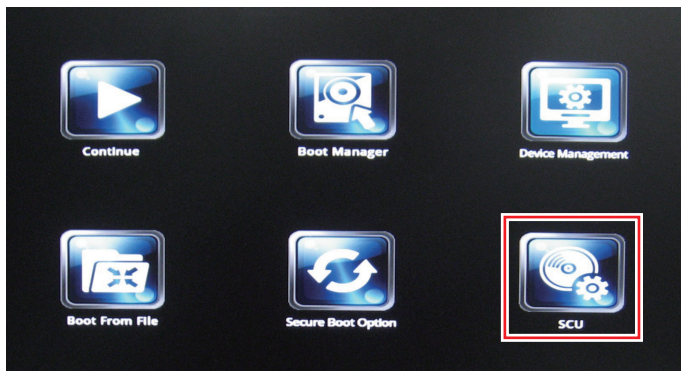
- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- ユーザー設定値を保存する

操作は USB キーボードまたはマウスで行います。

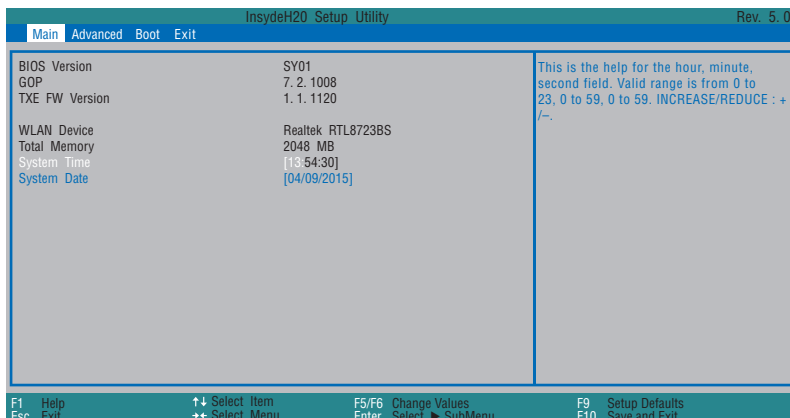
UEFI Setup ユーティリティの起動

本機を再起動する前に、キーボードの **[Esc]** の位置を確認してください。 **1** では、すばやく **[Esc]** を押す必要があります。

- 1** 本機の電源を入れ、すぐに **[Esc]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
Windows が起動してしまった場合は、再起動して **1** をもう一度実行してください。
- 2** 次の画面が表示されたら、**[SCU]** を選択します。



「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



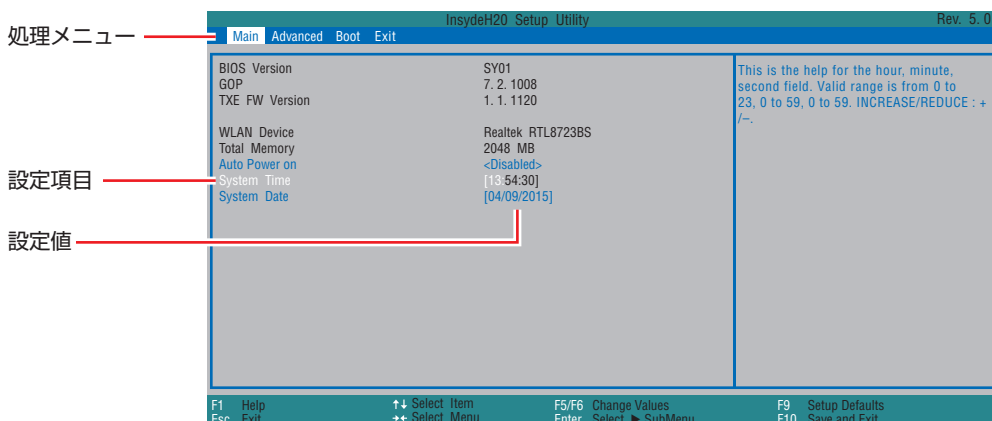
< UEFI Setup ユーティリティ画面 (イメージ) >

UEFI Setupユーティリティの操作

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、[p.84](#) 「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。
この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

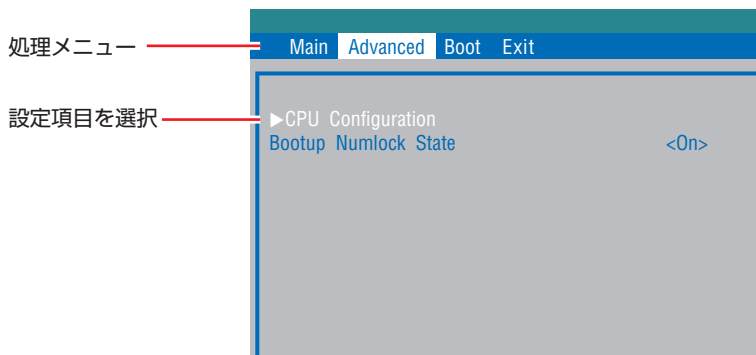
操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法は次のとおりです。

- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。




→ ← でメニュー間を移動します。

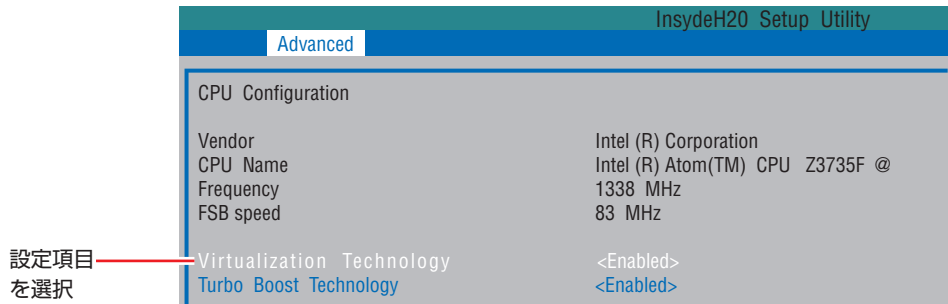
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。




<メニュー画面>

▶ のある項目の場合

▶ のある項目の場合、 を押すとサブメニュー画面が表示されます。  で設定値を変更したい項目まで移動します。

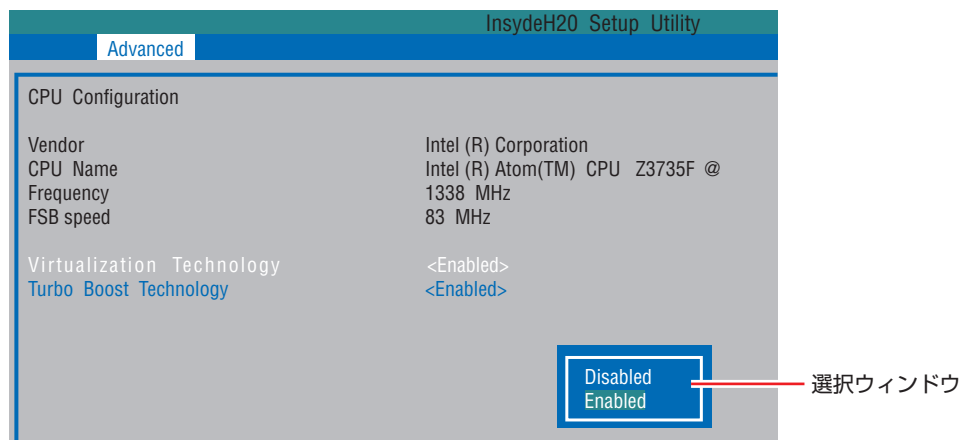


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには  を押します。














2 設定値を変更します。

 を押して選択ウィンドウを表示し、  で値を選択し  で決定します。



キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

| キー | 操作できる内容 |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">変更した内容を破棄し、終了します。サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。 |
|  ,  | 設定を変更する項目を選択します。 |
|  ,  | 処理メニューを選択します。 |
|  ,  | 項目の値を変更します。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">メニュー画面中の ▶ のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。選択項目の選択ウィンドウを表示します。設定値を選択します。 |
|  | ヘルプを表示します。 |
|  ,  | 設定値を切り替えます。 |
|  | 全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。 |
|  | 変更した設定値を保存して終了します。 |

UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes and Reset（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|-----------------------|----|
| Exit Saving Changes ? | |
| Yes | No |

- 2 **[Yes]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Reset（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 **[Esc]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|-----------------------------|----|
| Discard Changes and Reset ? | |
| Yes | No |

- 2 **[Yes]** を選択し、**[Enter]** を押します。
「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値をUEFIの初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Optimal Defaults (UEFIの初期値に戻す)

設定値をUEFIの初期値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **[F9]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|-------------------------|----|
| Load Optimal Defaults ? | |
| Yes | No |

- 2 **[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。
これで設定値が「UEFIの初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|-------------------|----|
| Discard Changes ? | |
| Yes | No |

- 2 **[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。
これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

ユーザー設定値を保存する

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておく、「Load Setup Defaults」を行って、設定値が「UEFIの初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。


Save User Define (ユーザー設定値を保存する)

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。

- 1 UEFI Setup ユーティリティの設定値を変更します。

- 2** 「Exit」メニュー画面－「Save User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|--------------------|----|
| Save User Define ? | |
| Yes | No |

- 3** [Yes] を選択し、 を押します。
これで設定値が保存されます。


Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。

※ 「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。

- 1** 「Exit」メニュー画面－「Load Setup User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

| | |
|--------------------------|----|
| Load Setup User Define ? | |
| Yes | No |

- 2** [Yes] を選択し、 を押します。
これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。


UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法について説明します。
UEFI Setup ユーティリティには、次の4つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
日時の設定を行います。
- Advanced メニュー画面
CPU やキーボードの設定を行います。
- Boot メニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Exit メニュー画面
UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日時の設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

 は初期値
*は項目表示のみ

| | |
|-----------------|--|
| BIOS Version* | 本機の型番 |
| GOP* | GOP のバージョン |
| TXE FW Version* | TXE ファームウェアのバージョン |
| WLAN Device* | 無線 LAN アダプターの型番 |
| Total Memory* | 本機に搭載されているメモリー容量 |
| Auto Power on | 電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Disabled：電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Enabled：電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピューターが起動します。 |
| System Time | 時刻を設定します。(時間：分：秒) |
| System Date | 日付を設定します。(曜日 月 / 日 / 年) |

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU やキーボードの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

| | |
|---------------------------|--|
| CPU Configuration | 本機に搭載されている CPU の設定をします。 |
| * Vender | CPU のメーカー |
| * CPU Name | CPU の型番 |
| * Frequency | CPU の周波数 |
| * FSB Speed | フロントサイドバスのデータ転送速度 |
| Virtualization Technology | Intel Virtualization Technology の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。 |
| Turbo Boost Technology | ターボブースト機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。 |
| Bootup Numlock State | UEFI や DOS での起動時に数値キー入力固定を設定します。 On: 数値キー入力に固定します (Num Lock)。 Off: 数値キー入力に固定しません (カーソル制御)。 起動後の入力状態は <input type="checkbox"/> Num Lock で変更でき、状態は Num Lock ランプで確認できます。 ※この設定は、Windows 起動後には反映されません。 |

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

| | |
|----------------------|--|
| Boot option Priority | ドライブの起動順番を設定します。 |
| Boot option Priority | 初期値は「Windows Boot Manager」のみ表示されます。 USB 記憶装置を接続している場合は、「EFI USB Device」と表示されます。 起動デバイスの順番を変更するには、 <input type="button" value="F5"/> または <input type="button" value="F6"/> を押します。 |

Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| Save Changes and Reset | 変更した内容（設定値）を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了し、再起動します。 |
| Discard Changes and Reset | 変更した内容（設定値）を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了し、再起動します。 |
| Discard Changes | UEFI Setup ユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。 |
| Exit Discarding Changes | 変更した内容（設定値）を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。 |
| Load Optimal Defaults | UEFI Setup ユーティリティの設定値を、UEFI の初期値に戻します。 |
| Save User Define | UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。 |
| Load Setup User Define ※ 「Save User Define」で 設定値を保存後、実行可能 になります。 | 設定値をユーザー設定値に戻します。 |

UEFIの設定値

UEFI Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくくと便利です。ユーザー設定値は、保存しておくこともできます。🔗 p.82 「ユーザー設定値を保存する」

Mainメニュー画面

| 項目 | 購入時の設定 | | 変更内容 | |
|---------------|----------|---------|----------|---------|
| Auto Power on | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |

Advancedメニュー画面

| 項目 | 購入時の設定 | | 変更内容 | | |
|----------------------|---------------------------|----------|---------|----------|---------|
| CPU Configuration | Virtualization Technology | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| | Turbo Boost Technology | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |
| Bootup Numlock State | | Disabled | Enabled | Disabled | Enabled |

3



再インストール

Windows やドライバー / アプリを再インストールする手順について説明します。

| | |
|-----------------------------------|----|
| 再インストールの前に | 88 |
| PC をリフレッシュする | 89 |
| すべてを削除して Windows を再インストールする | 90 |

再インストールの前に

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。
再インストール方法は、次の 2 つです。目的や状況に応じた方法を選択してください。

| | 名称 | こんなときに実行します | 実行後に残るデータ | 実行後に削除されるデータ |
|---|---|---|--|--|
| 1 | PC をリフレッシュする  p.89 | <ul style="list-style-type: none">● Windows の動作が不安定になったとき● Windows が正常に起動しないとき | <ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● Windows Update でダウンロードした更新プログラム | <ul style="list-style-type: none">● 購入後にインストールした Windows アプリ |
| 2 | すべてを削除して Windows を再インストールする  p.90 | <ul style="list-style-type: none">● 1 を行っても問題が改善しない場合● インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合 | <ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ | <ul style="list-style-type: none">● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● 購入後にインストールした Windows アプリ● Windows Update でダウンロードした更新プログラム |

1、2 を実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

※事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。



**[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - 「FAQ 番号で検索」 -
FAQ 番号 : 27621**

PC をリフレッシュする

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、PC をリフレッシュします。

PCをリフレッシュする方法

PC をリフレッシュする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで PC をリフレッシュしてください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をクリックします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をクリックし、右側に表示された「PC をリフレッシュする」の「開始する」をクリックします。
- 3** 「PC のリフレッシュ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 4** 「再インストールする必要があるアプリ」と表示された場合は、[次へ] をクリックします。
- 5** 「PC をリフレッシュする準備ができました」と表示されたら、[リフレッシュ] をクリックします。

本機が再起動し、リフレッシュが開始されます。リフレッシュには約 20 分かかります。リフレッシュ中はキーボードやマウスを操作しないでください。リフレッシュが終了すると、スタート画面が表示されます。必要に応じて、削除された Windows アプリをインストールしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で PC をリフレッシュしてください。

 p.103 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

すべてを削除して Windows を再インストールする

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「PC をリフレッシュする」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

すべてを削除して Windows を再インストールする方法

すべてを削除して Windows を再インストールする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで再インストールを行ってください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をクリックします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をクリックし、右側に表示された「すべてを削除して Windows を再インストールする」の「開始する」をクリックします。
- 3** 「PC を初期状態に戻す」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 4** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 5** 「ドライブを完全にクリーンアップしますか?」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択します。
- 6** 「PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、[初期状態に戻す] をクリックします。
本機が再起動し、再インストールが開始されます。再インストールには約 10 分かかります。再インストール中はキーボードやマウスを操作しないでください。
- 7** 「ライセンス条項」と表示されたら、画面に表示された内容を確認し、[同意します] をクリックします。
- 8** 「パーソナル設定」と表示されたら、色を選択、PC 名を入力し、[次へ] をクリックします。
※ PC 名は半角英数字を入力してください。

- 9 「オンラインに接続」と表示された場合は、接続するネットワークを選択して、[次へ]をクリックします。
- 10 「設定」と表示されたら、[簡単設定を使う]をクリックします。
- 11 以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。

再インストールが終了すると、スタート画面が表示されます。
必要に応じて、削除されたアプリをインストールしたり、設定を行ったりしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストール (PC を初期状態に戻す) を行ってください。

 p.103 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」



4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

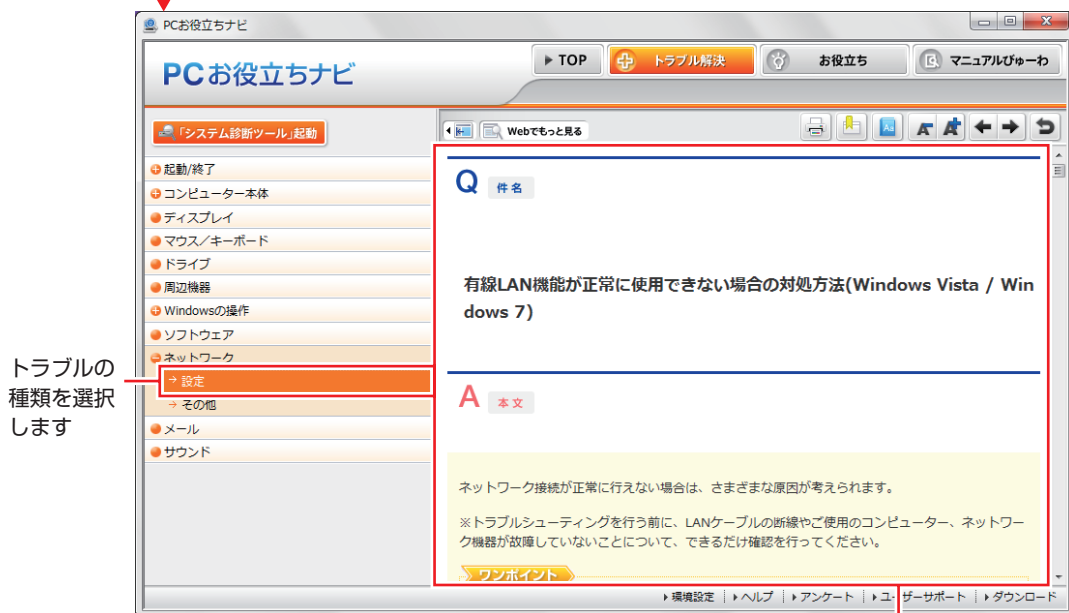
| | |
|----------------------|-----|
| トラブルが発生したら | 94 |
| 起動・画面表示できないときは | 96 |
| トラブル時に効果的な対処方法 | 100 |

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、[PC お役立ちナビ]の[トラブル解決]で対処方法を探してください。



候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

システム診断ツール

[PC お役立ちナビ]の [トラブル解決] には、システム診断ツールが搭載されています。

 p.104 「システム診断ツールを使う」



Windows のトラブルシューティングツール

Windows 8.1 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

画面左下隅で右クリック - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってください。


起動・画面表示できない場合

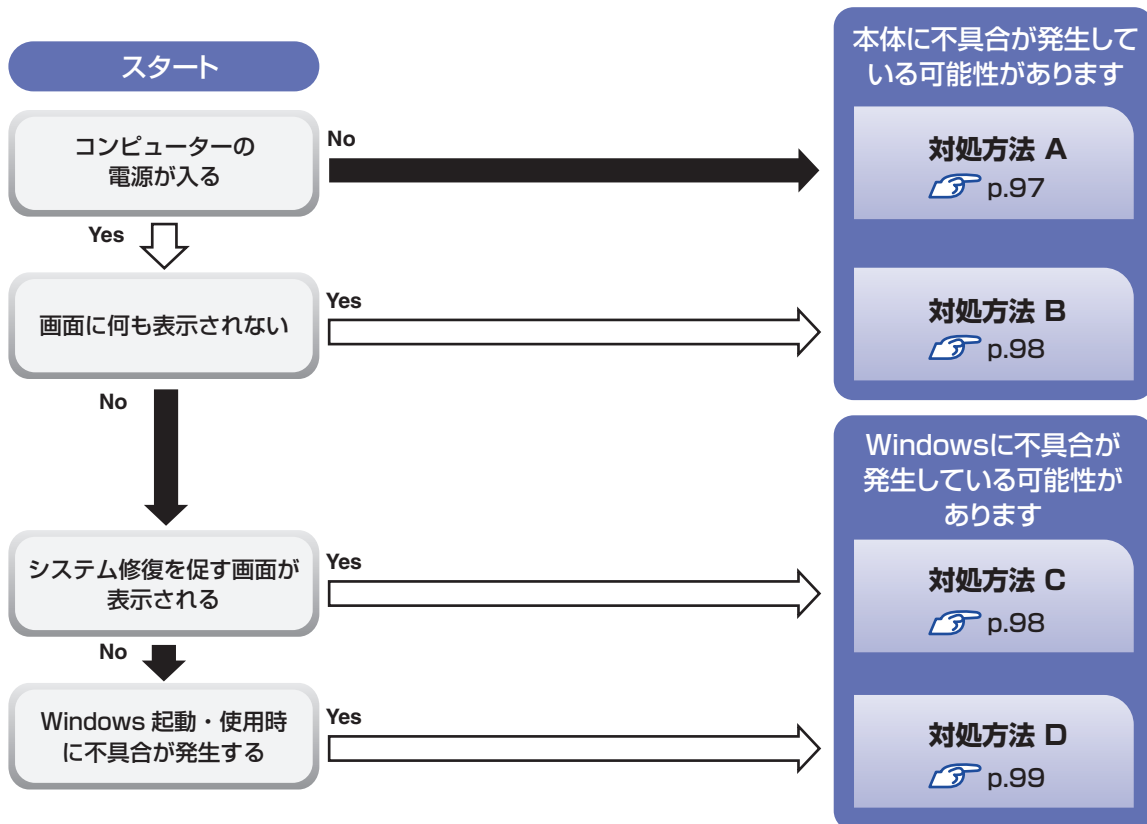
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.96 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.97「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処を行っても不具合が解消しない場合は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューター本体の電源を入れなおす**
電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。
- 2 AC アダプターを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、AC アダプターを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 3 壁のコンセントに直接接続する**
電源タップなどに AC アダプターを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接 AC アダプターを接続して、電源を入れてみてください。
- 4 消費電力の大きい機器を停止する**
エアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。
- 5 周辺機器を取り外す**
本機をご購入後に、お客様ご自身で接続した周辺機器がある場合は、機器を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 ディスプレイの電源ランプを確認する**
ディスプレイの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。
- 2 HDMI 延長ケーブルを接続しなおす**
コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、HDMI 延長ケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。
- 3 ディスプレイの表示を切り替える**
ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。
- 4 別のディスプレイを接続する**
ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。
- 5 AC アダプターを接続しなおす**
電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、AC アダプターを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 6 周辺機器を取り外す**
本機をご購入後に、お客様ご自身で接続した周辺機器がある場合は、機器を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 C

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する**
- 2 再インストールをする**
eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。
 p.87 「再インストール」

対処方法 D

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、お客様ご自身で接続した周辺機器がある場合は、機器を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 マウスやキーボードの状態を確認する

「シャットダウン」の状態でもうすやキーボードを交換してしまうと、認識されず、Windows の操作ができなくなる場合があります。元のマウスやキーボードに戻してみてください。マウスやキーボードの交換は、「PC の電源を切る」で完全に電源を切った状態で行ってください。

 p.26 「PC の電源を切る」

4 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.102 「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.102 「システムの復元」

5 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.83 「Load Setup User Define（ユーザーの初期設定値に戻す）」









6 再インストールをする

eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.87 「再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

| 機能 | こんなときに |
|---|---|
| 再起動  p.101 本機を再起動します。 | <ul style="list-style-type: none">・使用しているアプリで指示があった場合・アプリや Windows の動作が不安定になったとき |
| アプリの強制終了  p.101 アプリを強制終了します。 | <ul style="list-style-type: none">・アプリや Windows が、キーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき |
| 常駐アプリの停止  p.102 不具合のある常駐アプリを停止します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| システムの復元  p.102 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| UEFI の初期化  p.82 UEFI の設定を初期値に戻します。 | <ul style="list-style-type: none">・UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき |
| 本機を購入時の状態に戻す  p.87 PC のリフレッシュまたは Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。 | <ul style="list-style-type: none">・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき） |
| Windows 回復環境 (Windows RE)  p.103 Windows を修復します。 | <ul style="list-style-type: none">・システム回復を促す画面が表示されたとき・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき |
| システム診断ツール  p.104 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。 | <ul style="list-style-type: none">・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき |

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1** スタート画面右上の  - 「再起動」をクリックします。




再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

アプリの強制終了




アプリや Windows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。


ハングアップした場合は、アプリの強制終了を行います。

アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1**  +  +  を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、ハングアップしているアプリを選択して「タスクの終了」をクリックします。
アプリが終了します。

強制的に電源を切る

 +  +  を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 電源スイッチ () を 5 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。

常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、詳細表示にして「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を選択し、[無効にする] をクリックします。

常駐アプリが原因ではなかった場合、[有効にする] をクリックして元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、アプリのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。

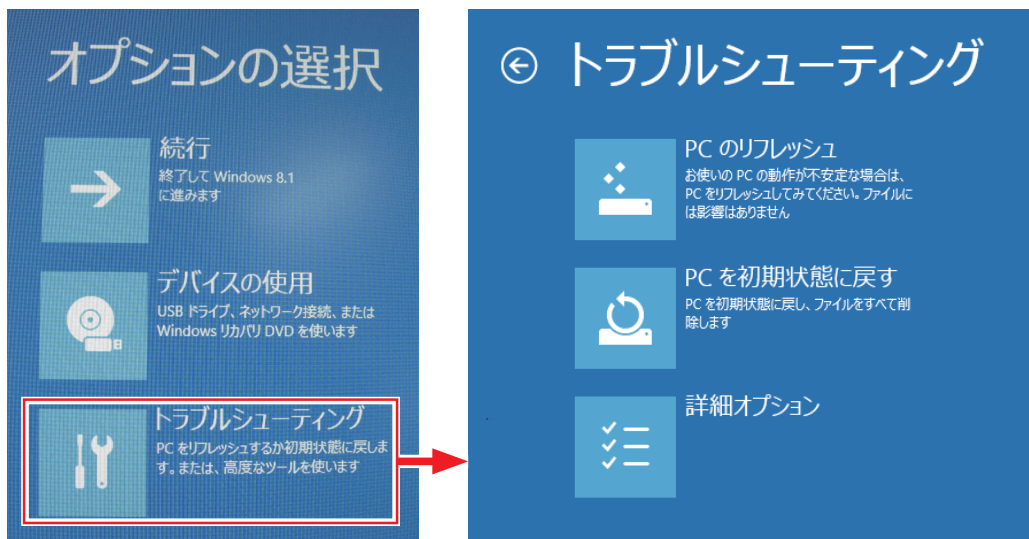
システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** 画面左下隅で右クリック→「システム」→画面左「システムの保護」→「システムの復元」をクリックします。
- 2** 「システム ファイルと設定の復元」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3** 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 5** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 6** デスクトップを表示し、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機の eMMC 内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行っててください。


Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



Windows RE の項目

Windows RE には、次の項目があります。

● PC のリフレッシュ

 p.89 「PC をリフレッシュする」

● PC を初期状態に戻す

本機を出荷時の状態に戻します。本機をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやりなおすときに行います。

 p.90 「すべてを削除して Windows を再インストールする」

● 詳細オプション

・ システムの復元

 p.102 「システムの復元」

・ イメージでシステムを回復

事前にシステムのイメージを保存しておいた場合は、Windows やアプリを、イメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。※個人用ファイルは削除されます。

・ 自動修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まず自動修復を行ってください。

・ コマンドプロンプト


コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

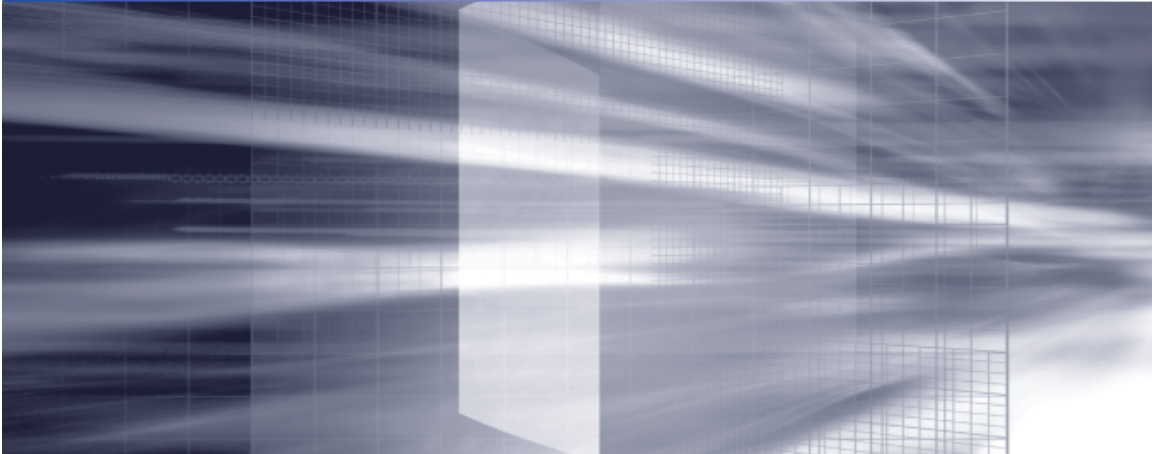
システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断を実行する

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

- 1** [PC お役立ちナビ] - [トラブル解決] - [システム診断ツール起動] をクリックします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。
該当項目の診断が開始されます。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
 『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

| | |
|----------------------|-----|
| お手入れ | 106 |
| コンピューターを廃棄するときは..... | 107 |
| 機能仕様一覧 | 109 |

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。

通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。
定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、eMMC のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のeMMC上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中の eMMC という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この eMMC 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に ② ~ ⑤ の操作をしても、eMMC 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの eMMC 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、eMMC 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、eMMC に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、eMMC 上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、eMMC 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

eMMCのデータを消去する

本機を廃棄する前に eMMC のデータを消去してください。
当社サポートページで「HDD データ消去プログラム」を提供しています。HDD データ消去プログラムを使用すると、eMMC 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、eMMC のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。

※作業には USB キーボードと USB ハブ、USB 記憶装置（USB フラッシュメモリーなど）が必要です。



制限

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。
eMMC のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

HDD データ消去プログラムのダウンロードや使用方法については、次の場所をご覧ください。



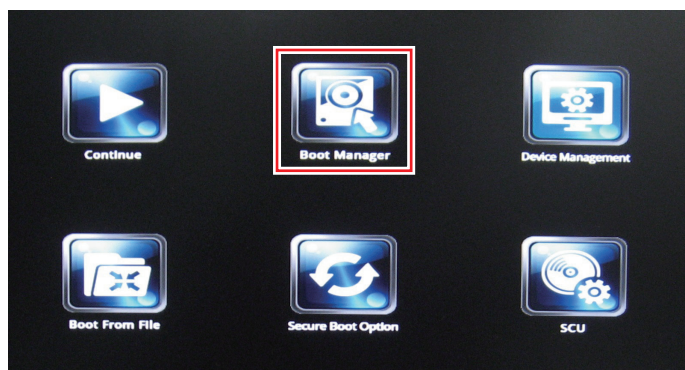
【PC お役立ちナビ】 - 画面右下【ダウンロード】 - FAQ 番号：28677

USB 記憶装置から起動する

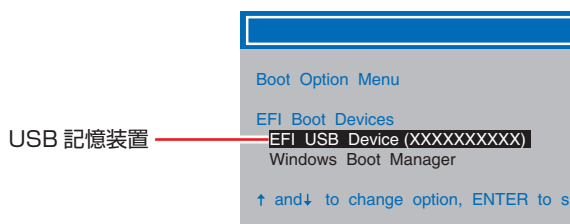
USB 記憶装置に保存した「HDD データ消去プログラム」を実行するには、USB 記憶装置から起動します。

起動方法は次のとおりです。

- 1 USB 記憶装置を USB ハブに接続します。
- 2 本機の電源を入れ、すぐに **[Esc]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
Windows が起動してしまった場合は、再起動してもう一度行ってください。
- 3 次の画面が表示されたら、**[Boot Manager]** を選択します。



- 4 「Boot Option Menu」が表示されたら、**[↑]** **[↓]** で USB 記憶装置の型番を選択して **[←]** を押します。



機能仕様一覧

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| 型番 | SY01 | |
| CPU | インテル Atom プロセッサ Z3735F | |
| チップセット | CPU 内蔵 | |
| UEFI | Insyde UEFI | |
| メイン メモリー | 規格 | PC3L-10600 (DDR3L-1600 SDRAM) * ¹ |
| | 容量 | 2GB |
| ビデオコントローラー | インテル HD グラフィックス | |
| ビデオメモリー (メインメモリーと共用) | 1017MB (最大) | |
| ディスプレイ表示解像度 (最大) * ² | 1280 × 1024、1920 × 1080 (ワイドディスプレイ接続時のみ) | |
| 記憶装置 | eMMC 5.0 | |
| サウンド機能 | インテル SST オーディオ | |
| 無線 LAN / Bluetooth | AzureWave 製 AW-NB177NF | |
| インタ フェース | USB | 1 : USB2.0 |
| | 給電専用 | 1 : マイクロ USB |
| | ディスプレイ | 1 : HDMI TypeA |
| メモリーカードスロット | 1 : マイクロ SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応> * ³ | |
| 電源 | AC アダプター * ⁴ (MII050200B) | 入力 : AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、0.3A |
| | | 出力 : DC5V、2.0A、10W 質量 : 62g |
| 本体寸法 (幅×奥行×高さ) | 113 × 38 × 14mm | |
| 本体質量 (基本構成時) | 約 60g | |
| 消費電力 (AC 側) | 最大定格出力時 (理論値) : 13.3W | |
| 動作環境 | 動作温度 : 10 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) | |

*¹ 本機は 1333MHz で動作します。

*² 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

*³ 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

*⁴ 本製品は国内専用 (AC100V 50/60Hz) のため、海外での使用は保証対象外。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - [FAQ 番号で検索] - FAQ 番号 : 27517

無線機能

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

本機の Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 準拠規格 | Bluetooth 標準規格 V4.0+EDR、LE 対応 |
| 転送速度(規格値) | 3Mbps |

* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：AW-NB177NF

認証番号：204-430024

無線 LAN

無線 LAN*¹ の仕様は次のとおりです。

| | |
|----------------------------|--|
| 準拠規格 | IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66 |
| データ転送速度(規格値)* ² | IEEE802.11b：11Mbps、IEEE802.11g：54Mbps、 IEEE802.11n：150Mbps(1x) |
| 変調方式 | DS-SS 方式、OFDM 方式 |
| 伝送距離(理論値)* ³ | IEEE802.11b (11Mbps)：40m、IEEE802.11g (54Mbps)：25m |
| セキュリティ* ⁴ | IEEE802.11b/g：WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11n：WPA (AES のみ)、WPA2 (AES のみ)、IEEE802.1x 認証に対応 |
| 使用無線チャンネル | IEEE802.11b/g/n：1～13ch |

*¹ 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名：AW-NB177NF

認証番号：204-430024


*² 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*³ 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

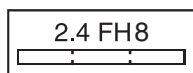
*⁴ IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、2.4GHzの周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。また、本機の無線設備は日本国内でのみ使用できます。
- 2.4GHzの周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - (1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
 - (2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - (3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 100m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオなどに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

<レーザーマウス添付の場合>

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ウイルスバスター、およびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- microSD および microSDHC は SD-3C, LLC の商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/